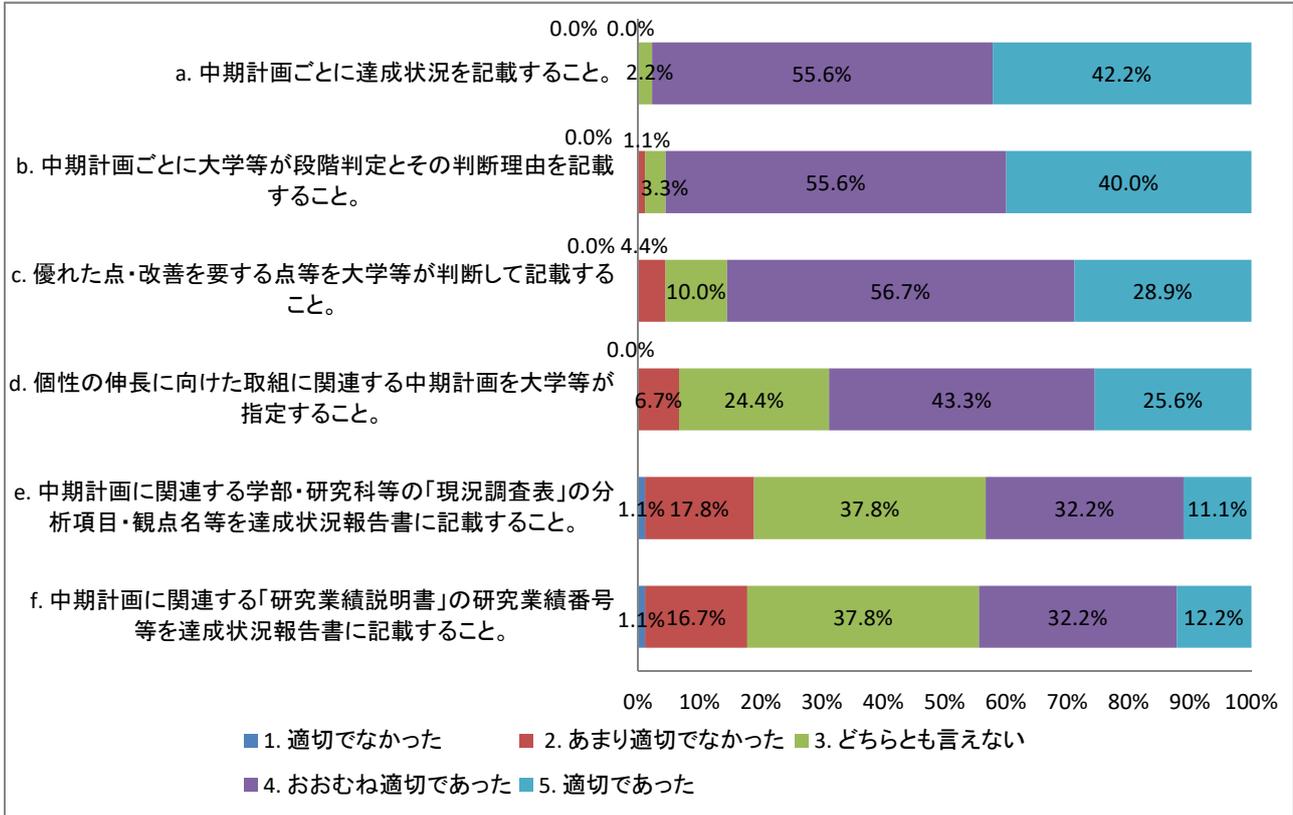


教育研究の「中期目標の達成状況評価」に関する検証アンケート集計結果(法人からの回答)

I 貴大学等における「達成状況報告書」の作成作業について

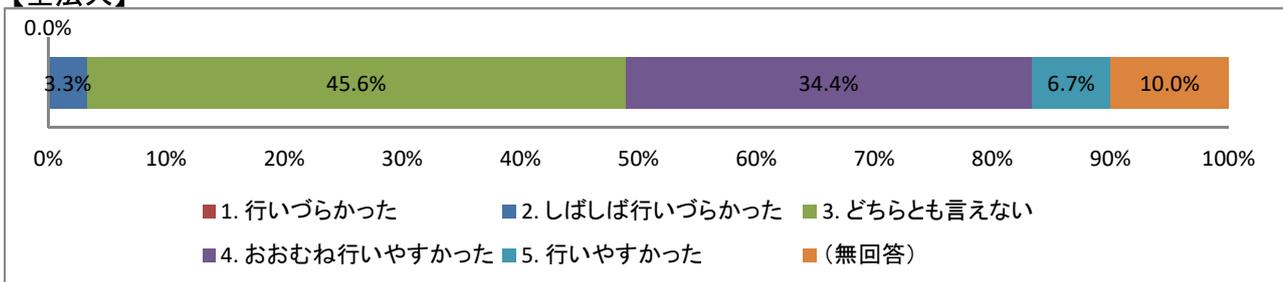
問1 達成状況報告書の形式や作成方法について

(1) 達成状況報告書を作成された際、今回の達成状況報告書の形式や作成方法は適切と思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

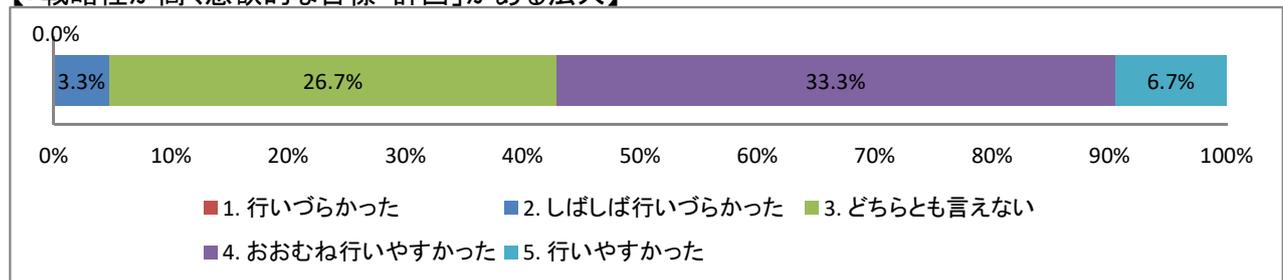


(2) 今回の評価では、「戦略性が高く意欲的な目標・計画」は、計画どおり実施できていなくとも、プロセスや内容等を考慮し、判定することとしていました。「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、自己評価を行いやすかったですか。当てはまる番号をご回答ください。

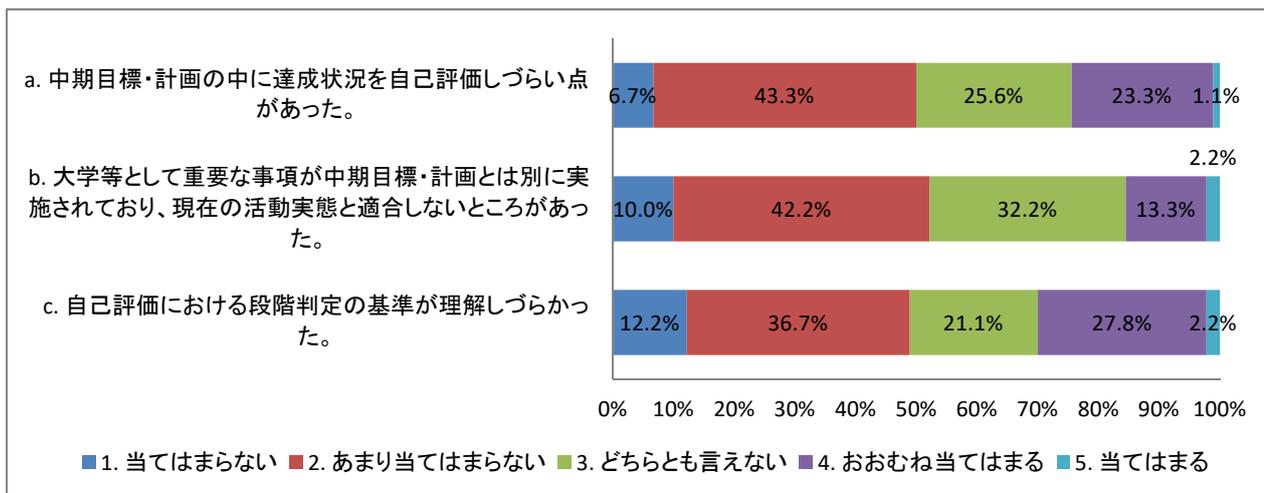
【全法人】



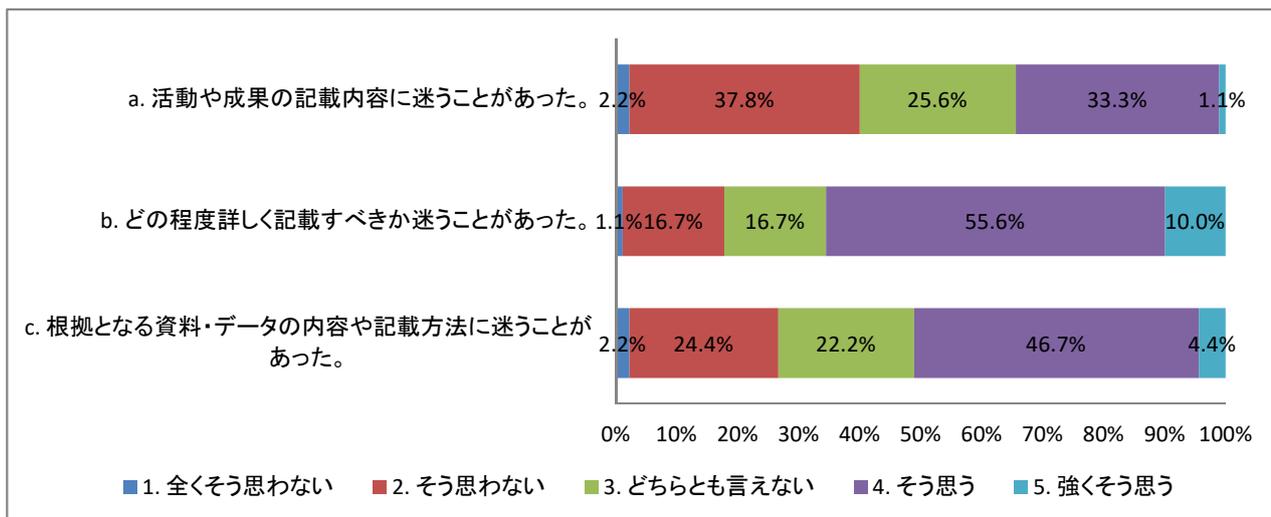
【「戦略性が高く意欲的な目標・計画」がある法人】



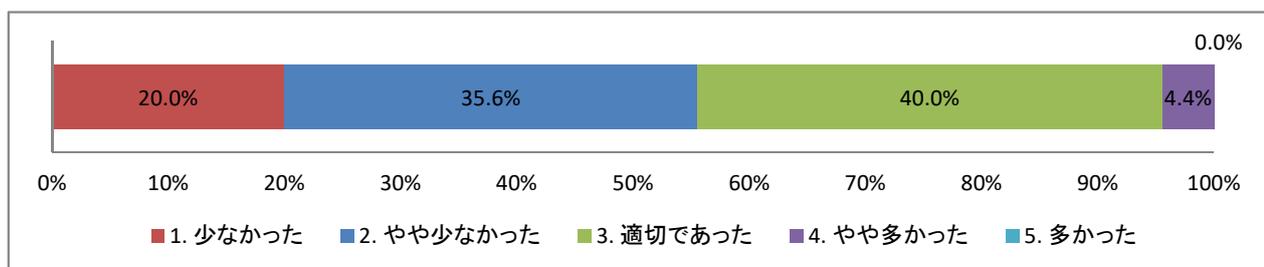
(3) 達成状況報告書を作成された際、自己評価を行いにくい点がありましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



(4) 達成状況報告書の具体的な記載内容や、どのような根拠となる資料・データを示すかは、各大学等に委ねていました。このような方法によって、以下のような問題を感じましたか。項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



(5) 達成状況報告書の字数の上限は、達成状況報告書を作成する上で適切でしたか。当てはまる番号をご回答ください。

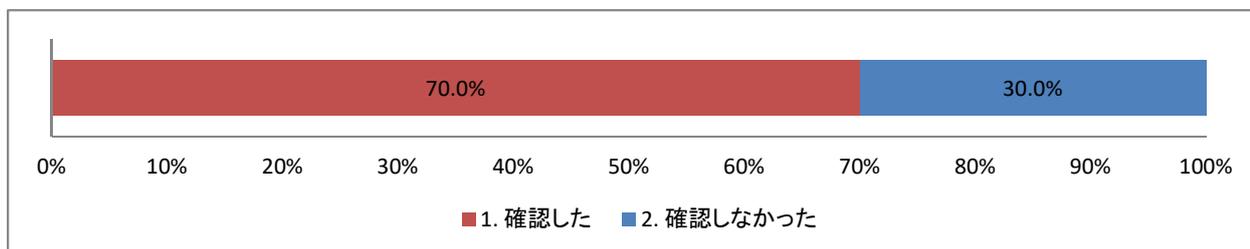


(6) 達成状況報告書の作成について、作成しやすかった点や、作成が困難であった点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

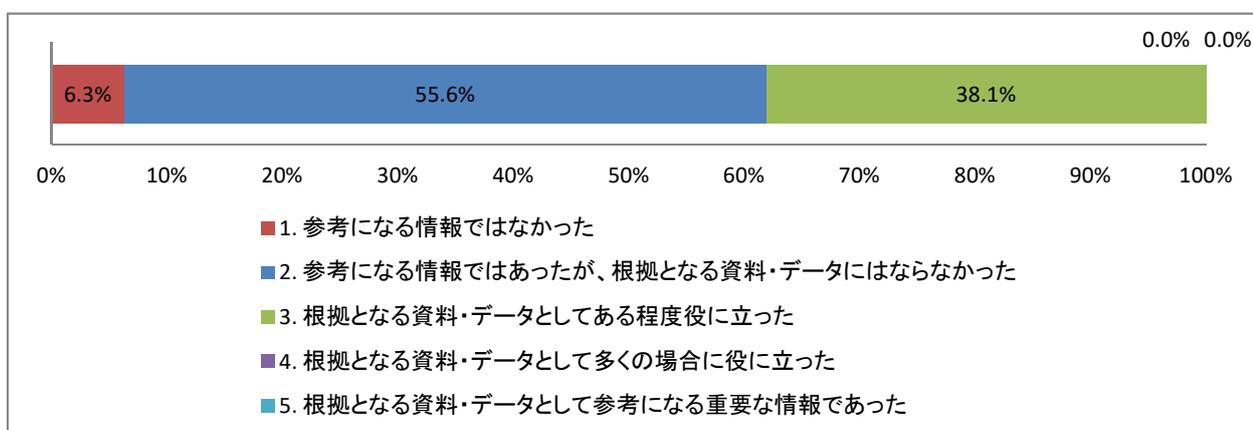
問2 参考資料「データ分析集」の活用について

今回の評価では「データ分析集」として、学生数や外部資金の推移などの定量的データを提供しました。

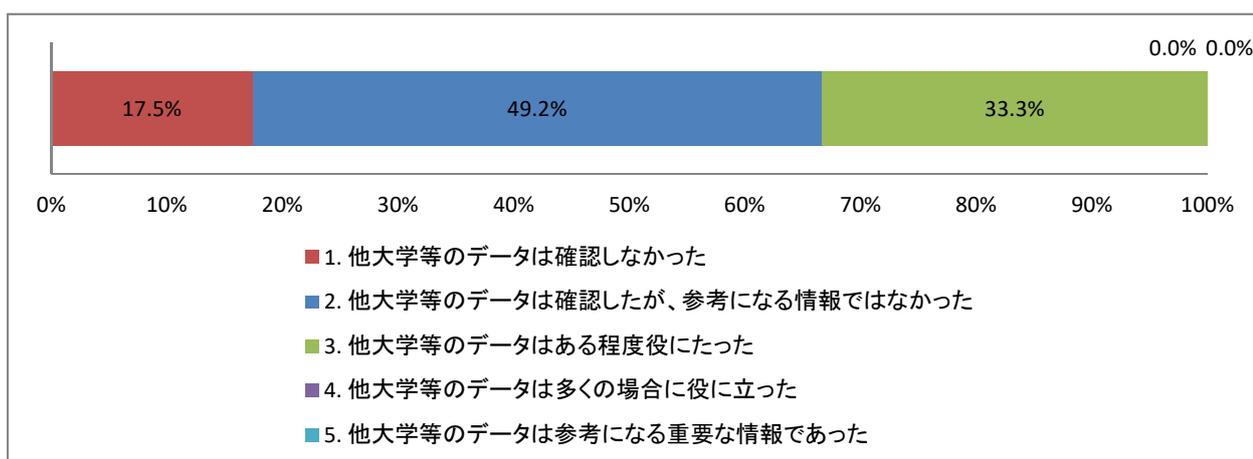
(1) 貴大学等では達成状況報告書を作成するにあたり、「データ分析集」を確認されましたか。当てはまる番号をご回答ください。



(2) 上の問いで「確認した」と回答された場合、達成状況報告書を作成する上で根拠となる資料・データとして参考になりましたか。当てはまる番号をご回答ください。



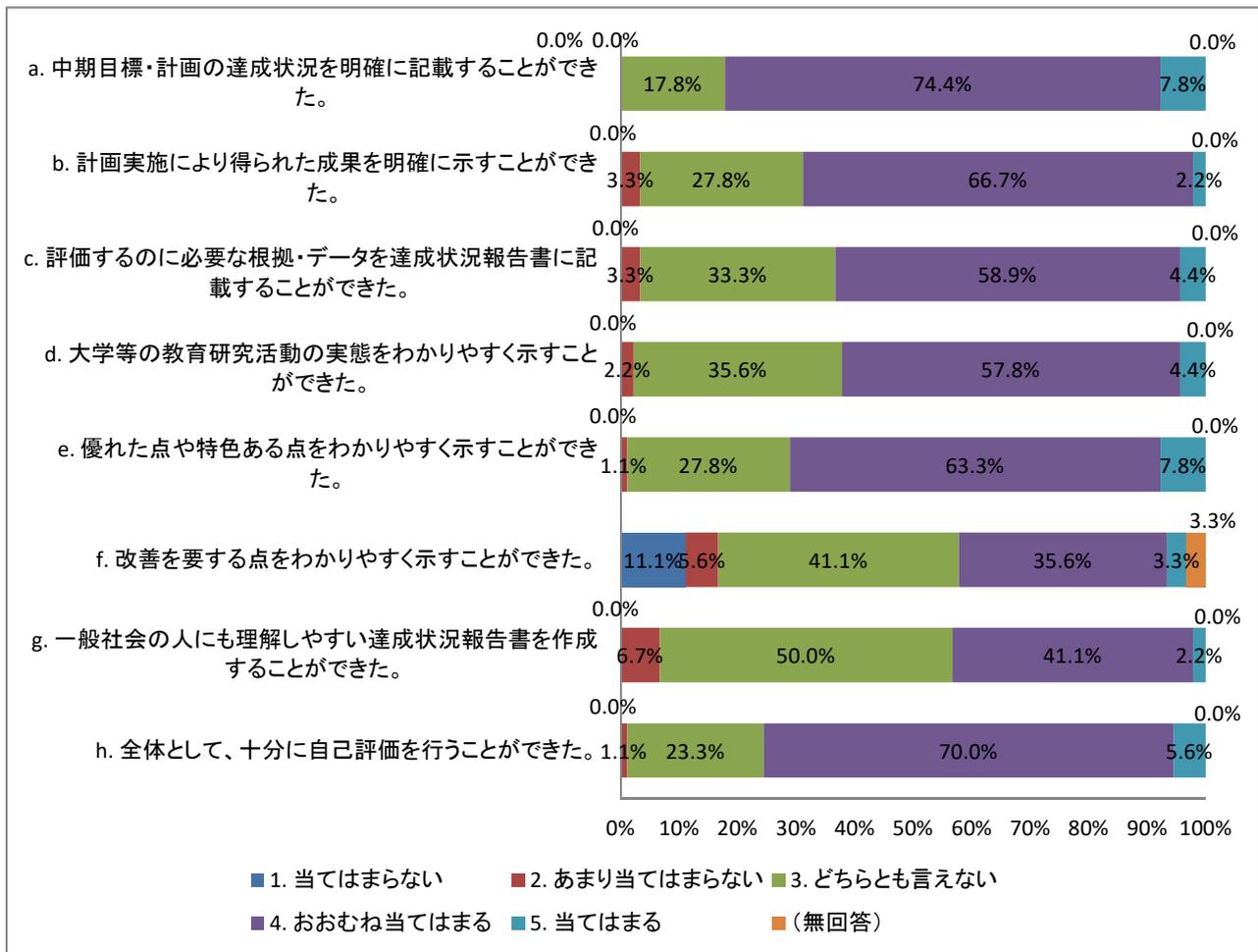
(3) (1)の問いで「確認した」と回答された場合、他大学等のデータや全大学等の傾向等の情報を参照されましたか。当てはまる番号をご回答ください。



(4) 参考資料について、「データ分析集」へのご意見(たとえば、データ・指標項目、表示方法、提供時期等)や、大学等に提供することが必要な他の参考情報についてのご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問3 貴大学等から提出した達成状況報告書について

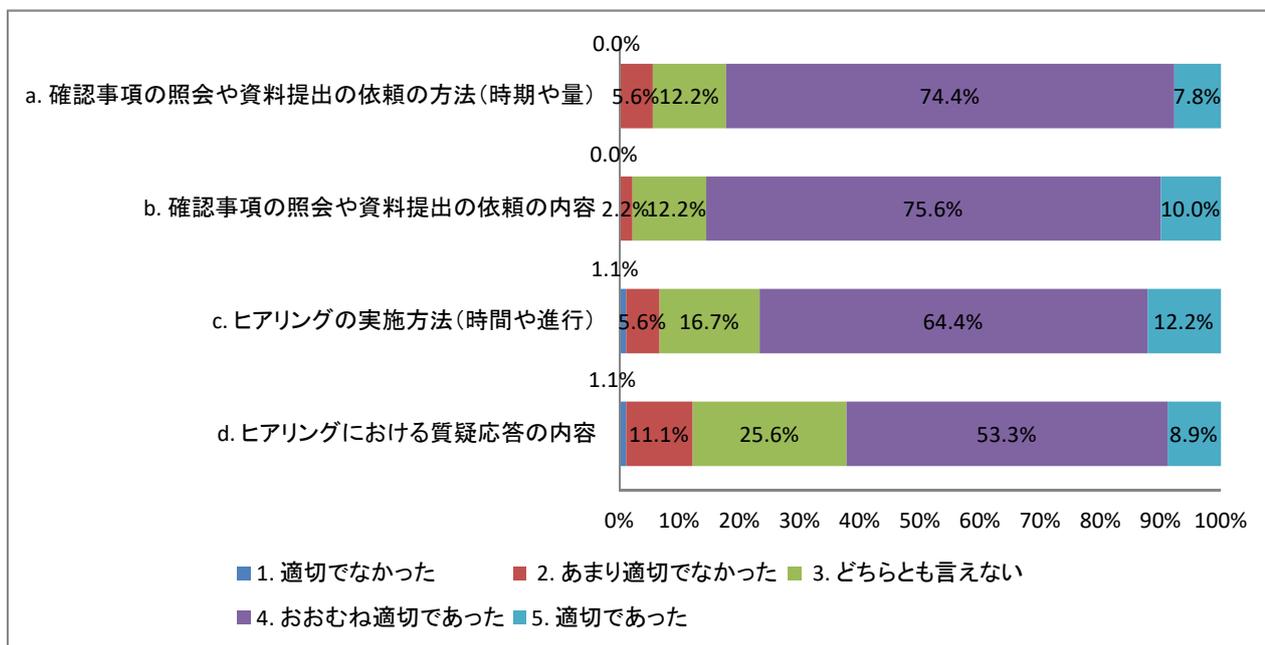
提出した達成状況報告書について、どのような感想をお持ちですか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



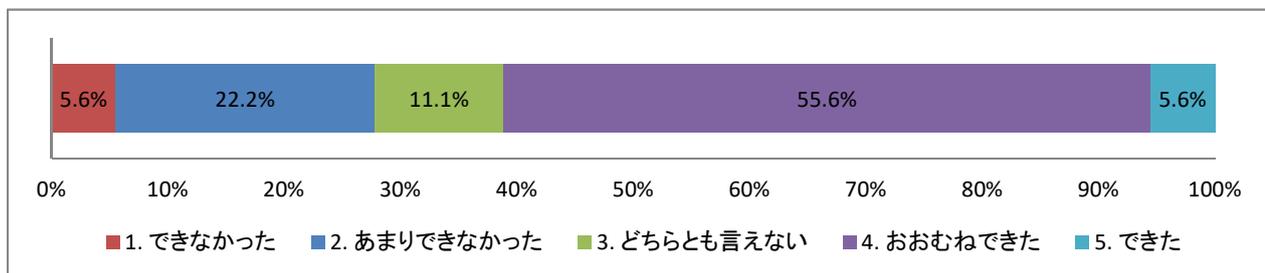
II 大学改革支援・学位授与機構による評価方法・評価結果について

問1 確認事項の照会・ヒアリングについて

(1) 今回の評価では、機構から大学等に確認事項の照会や資料提出の依頼を行った上で、対面又はテレビ会議システムの利用によるヒアリングを行いました。これらの方法について、適切だったと感じますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



(2) テレビ会議システムを用いたヒアリングを実施した大学等にお聞きします。ヒアリングでの質疑応答や意思疎通は適切に行うことができましたか。当てはまる番号をご回答ください。



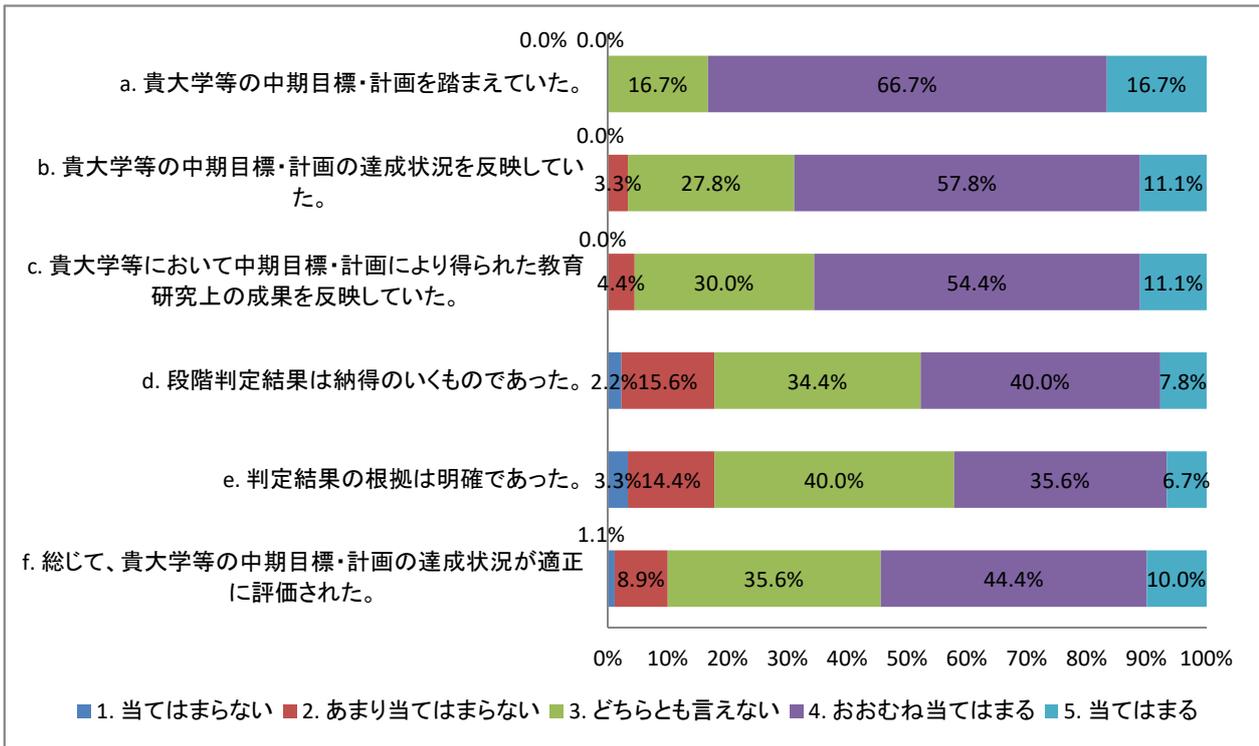
(3) 確認事項の照会やヒアリングについて、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問2 意見の申立てについて

意見の申立ての結果について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

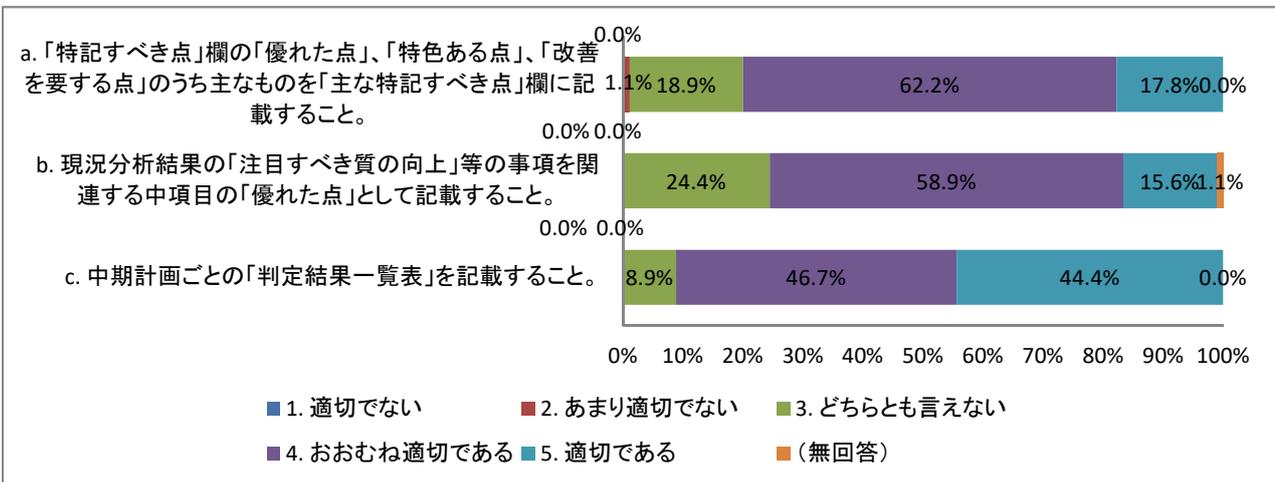
問3 評価結果(評価報告書)について

平成29年6月に公表しました貴大学等の評価結果の内容について、全体的にどのように思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



問4 第1期中期目標期間評価からの評価報告書構成の変更点について

第2期中期目標期間における評価では、評価報告書の構成を以下のように変更しました。これらの変更について、適切と思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

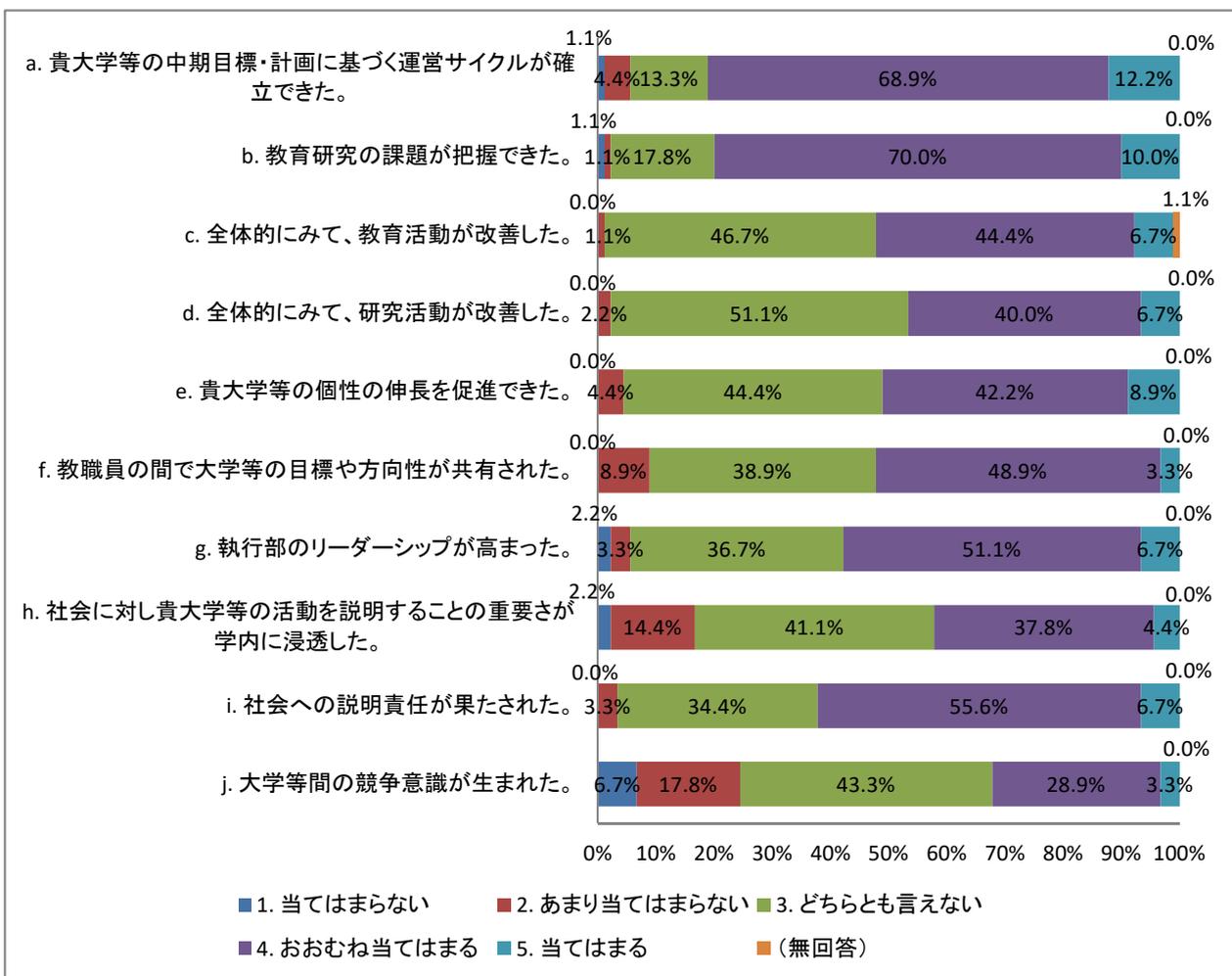


問5 評価報告書や評価結果について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

Ⅲ 評価による貴大学等での効果・影響について

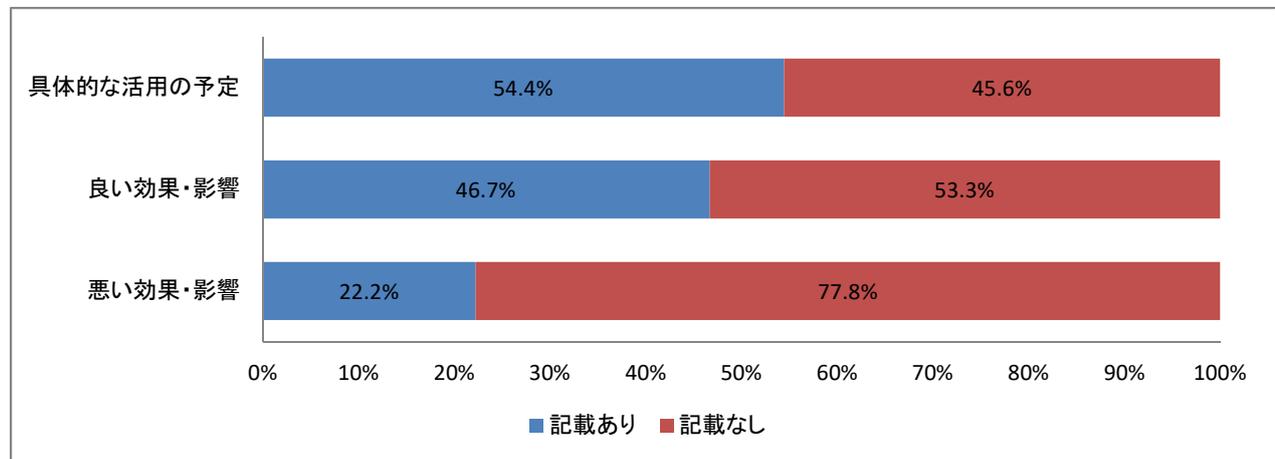
問1 評価の効果について

中期目標・計画に基づいて評価を行うことによって、貴大学等において以下の効果や影響があった(あるいは今後に顕在化する)と思われますか。項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



問2 評価結果の活用予定について

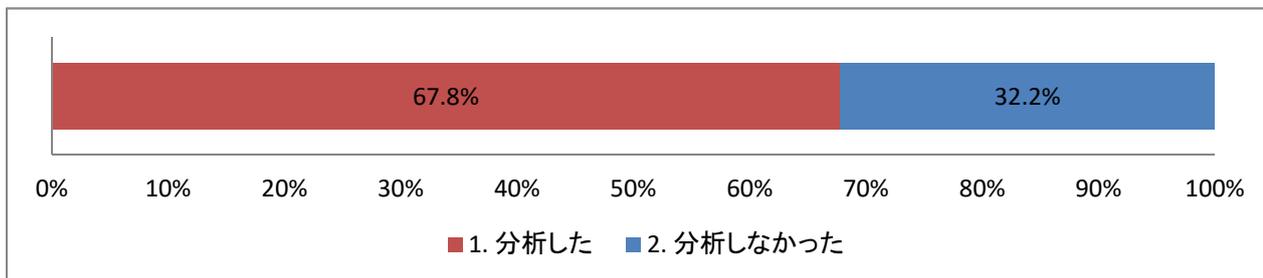
貴大学等において、今回の中期目標の達成状況に関する評価結果の具体的な活用の予定や、評価実施による良い効果・影響、悪い効果・影響がありましたら、以下にご記入ください。



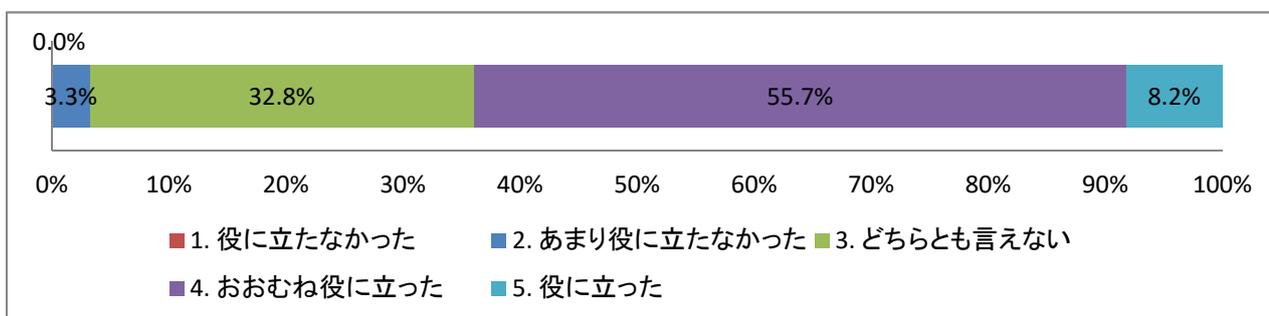
問3 他大学等の評価結果の分析状況について

他大学等の中期目標の達成状況に関する評価結果の内容の分析を行いましたか。当てはまる番号をご回答ください。

(1) 他大学等の評価結果の内容を分析しましたか。



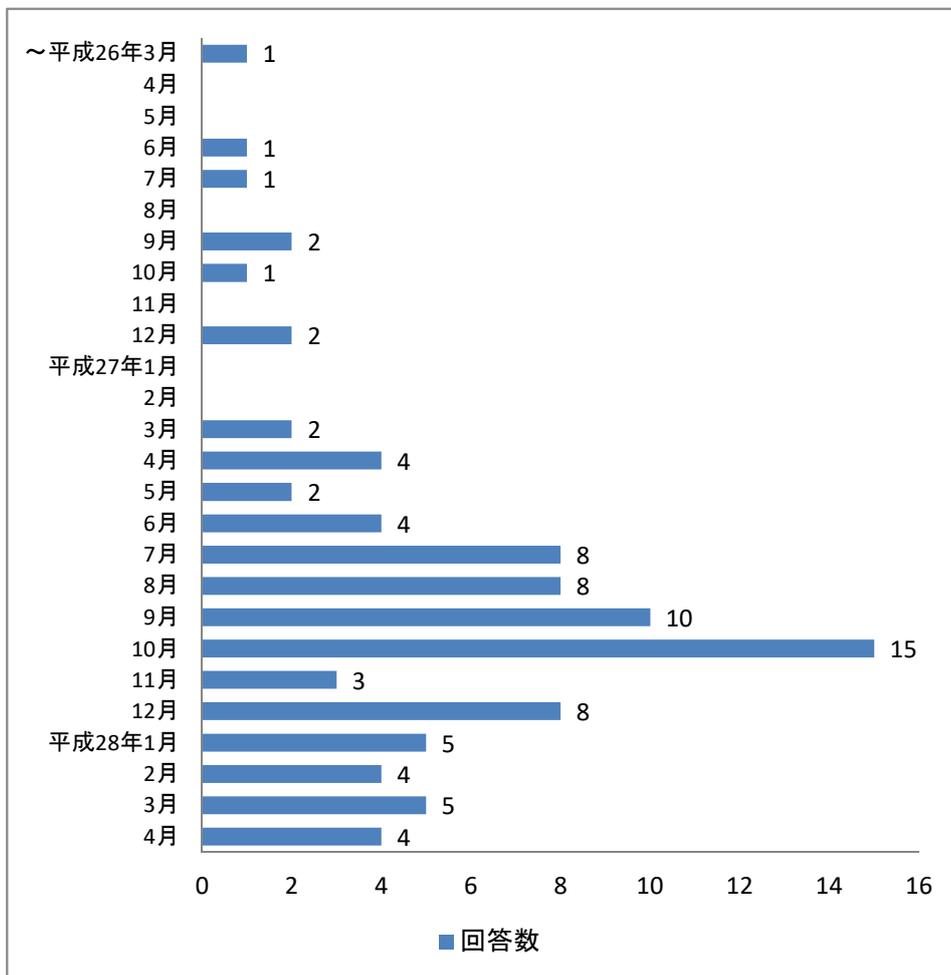
(2) 上の問いで「分析した」と回答された場合、分析した結果は役に立ちましたか。



IV 自己評価のための体制等について

問1 自己評価の体制・作業負担について

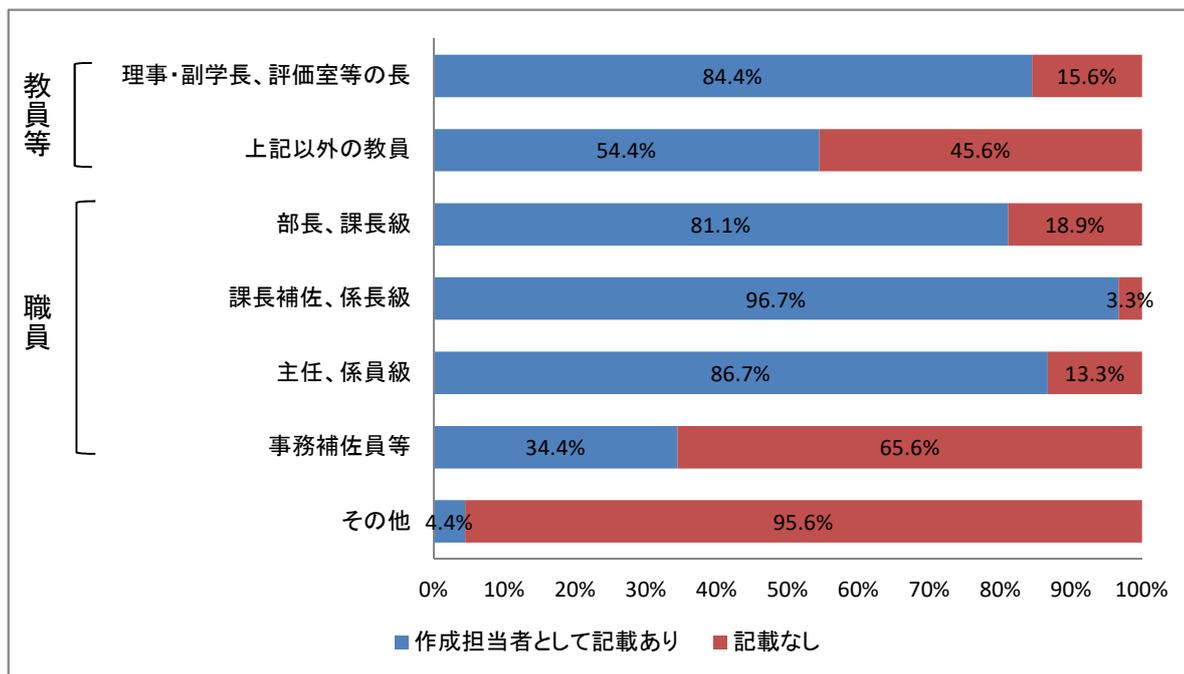
(1) 達成状況報告書の作成を開始した時期(各中期目標・計画の実施状況の記載を開始した時期)をご回答ください。



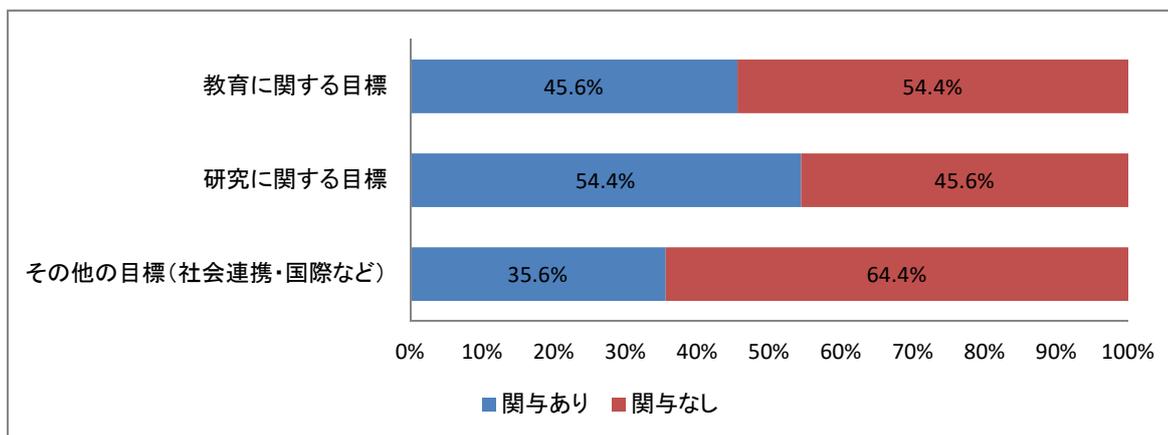
(2) 上の問いで回答された作成開始時期以降、達成状況報告書の作成作業を行った体制についてお聞きします。

① 自己評価委員会などの組織を設置して達成状況報告書の作成作業を行った場合、その大まかな体制(組織構成および、それらの構成員数・達成状況報告書作成開始以降の作成のための会議の開催回数)を以下にご記入ください。(自由記述)

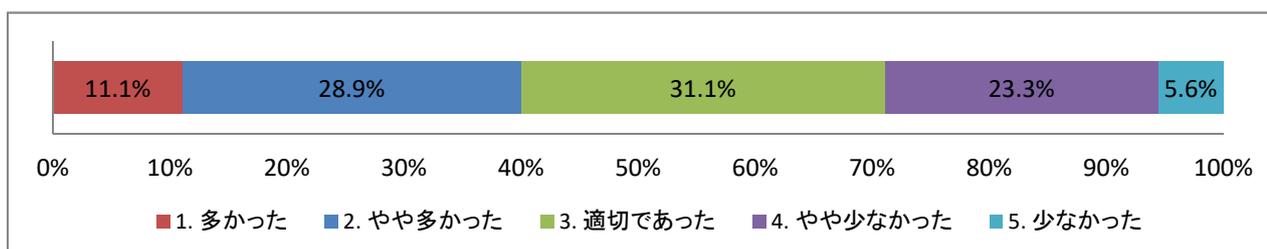
② 評価を主な職務として担当した教員・職員のうち、達成状況報告書の作成（現況調査表は除く）を担当したおおむねの人数について、フルタイム換算により分かる範囲でご回答ください（たとえば、達成状況報告書作成開始以降から提出までの職務の半分が報告書作成に関する業務であれば0.5人。フルタイム換算での回答がしづらければ、人／日、人／月などの回答でも結構です）。



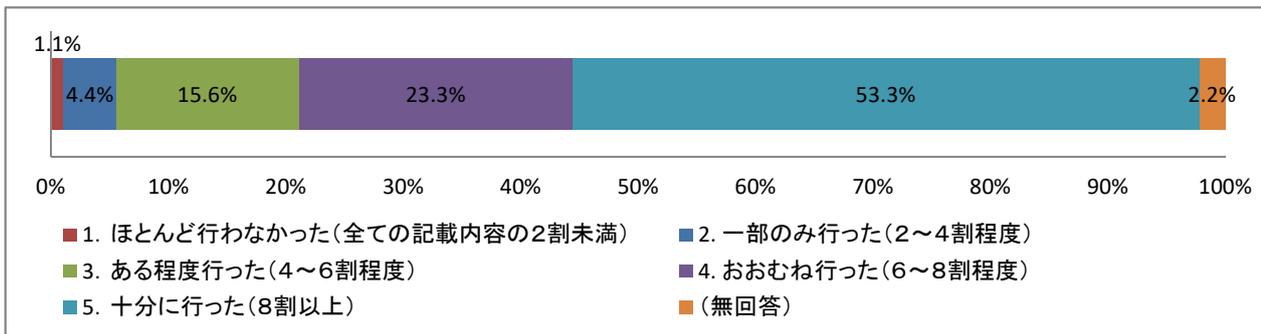
(3) 達成状況報告書の作成において、大学等内でデータの収集や分析を行う専門的な部署や人員（IR、URAなど）が関与しましたか。関与していた場合、中期目標の教育・研究・その他の目標ごとに、関与した専門部署名や専門人材の職名等を以下にご記入いただき、関与の程度を以下の5段階からご回答ください。



(4) 今回の達成状況報告書の作成に要した人員・時間は、国立大学法人評価の持つ意義を鑑みて、多かったですか、少なかったですか。当てはまる番号をご回答ください。

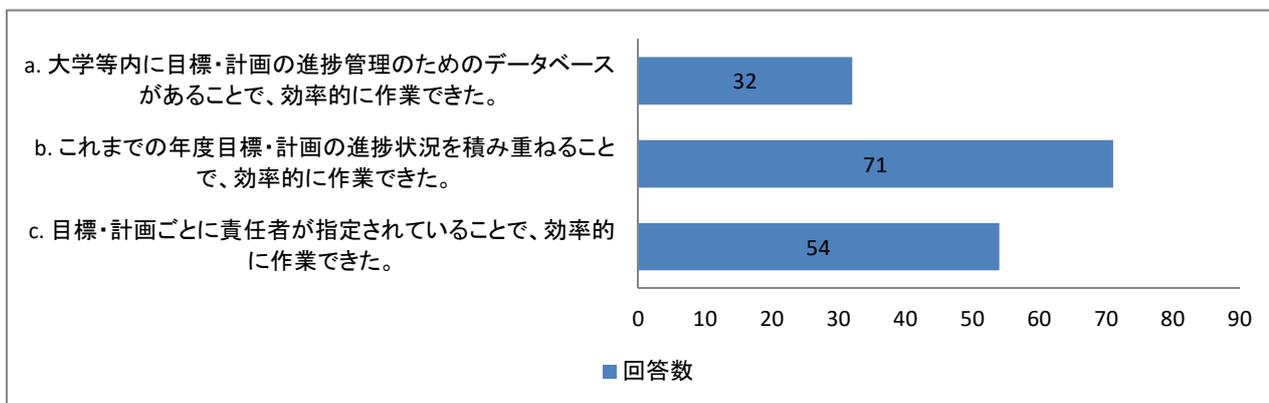


(5) 学部・研究科等から本部に提出された教育・研究の現況調査表(研究業績説明書含む)について、本部において各現況調査表の記載内容の精査や調整を行いましたか。当てはまる番号をご回答ください。



(6) 達成状況報告書の作成にかかる作業負担、あるいはその効率化の要因についてお聞きます。

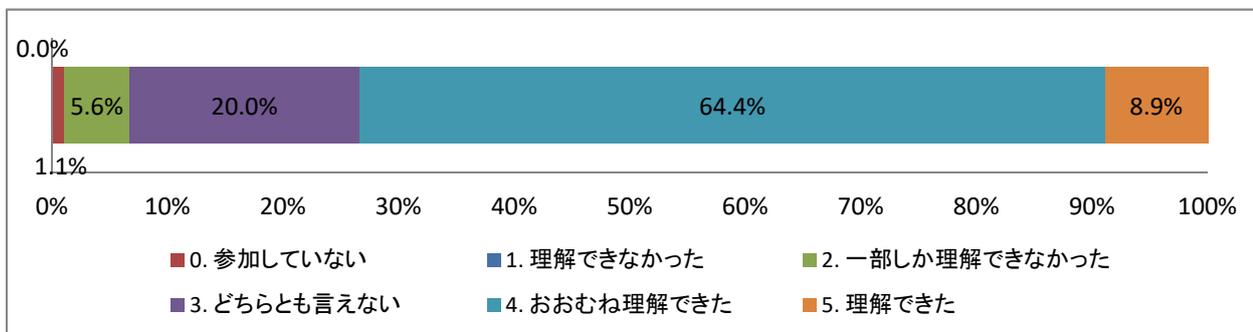
①作業を効率的に実施できた要因について、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。



②上記以外に作業を効率的に実施できた要因、反対に作業負担が多くなった要因がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

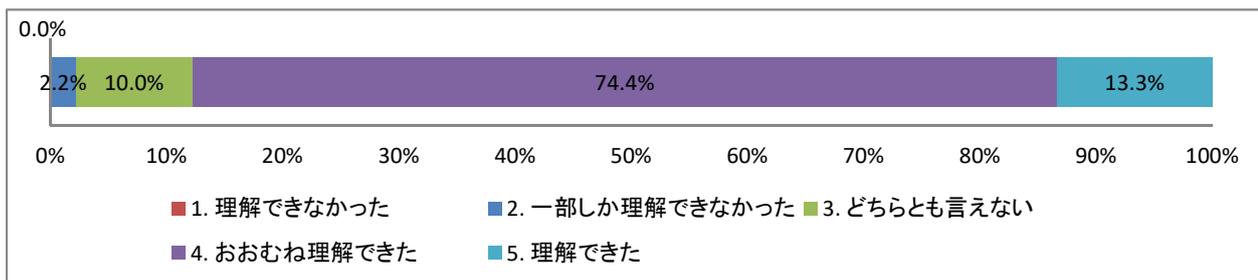
問2 機構による説明会(平成27年7月実施)について

達成状況報告書の作成方法や評価全体の進め方については、機構が実施した説明会により理解できましたか。当てはまる番号をご回答ください。



問3 実績報告書作成要領について

達成状況報告書の作成方法は、実績報告書作成要領により理解できましたか。当てはまる番号をご回答ください。

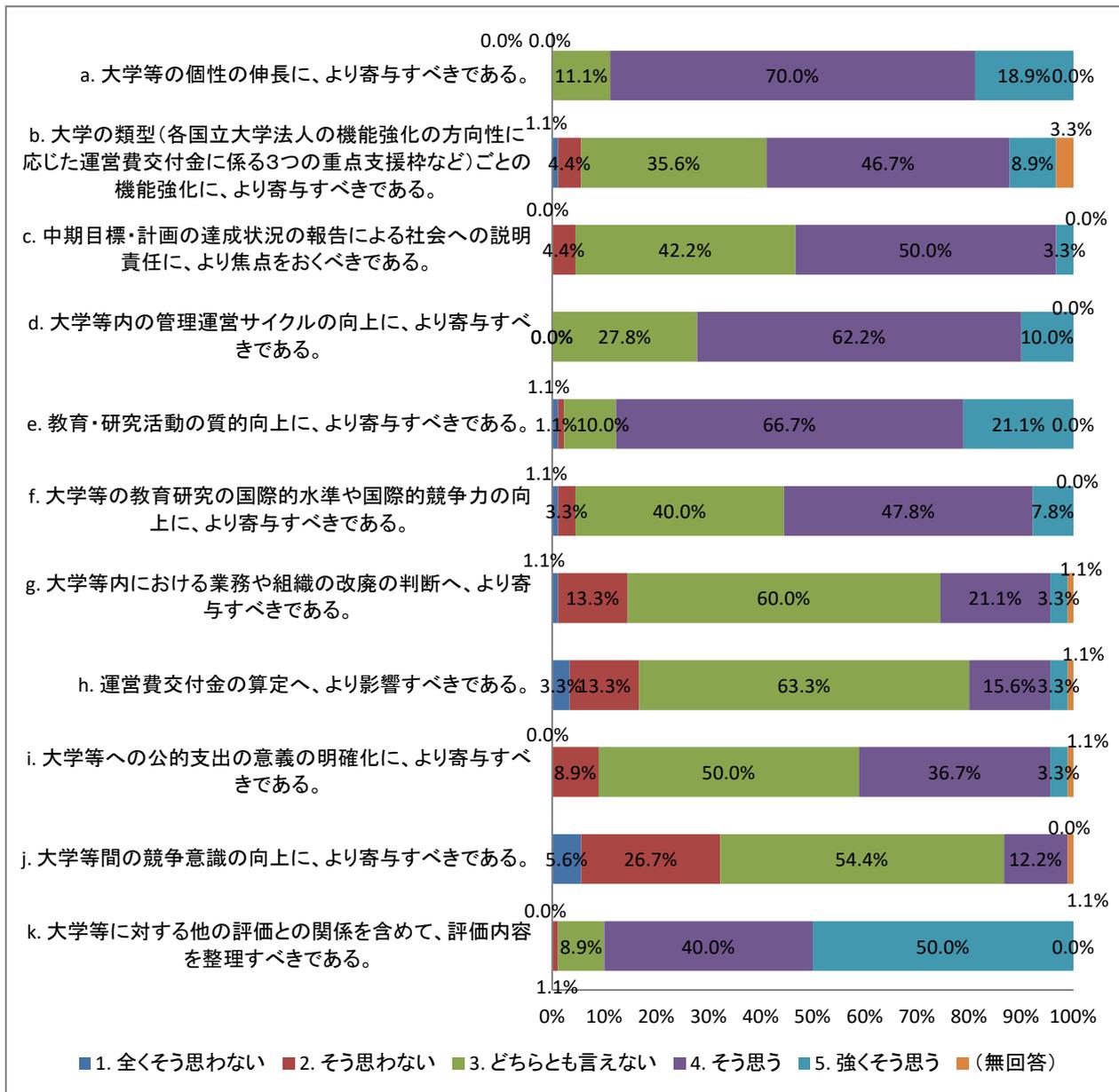


問4 評価作業の体制の課題(現況調査表作成を含む)や、機構による説明・問い合わせ対応など、作業全般についてお気づきの点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

V 今後の評価のあり方について

問1 今後の評価の方向性について

第3期中期目標期間の国立大学法人評価では、評価実施の目的として、どのようなことを重視すべきと思われますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



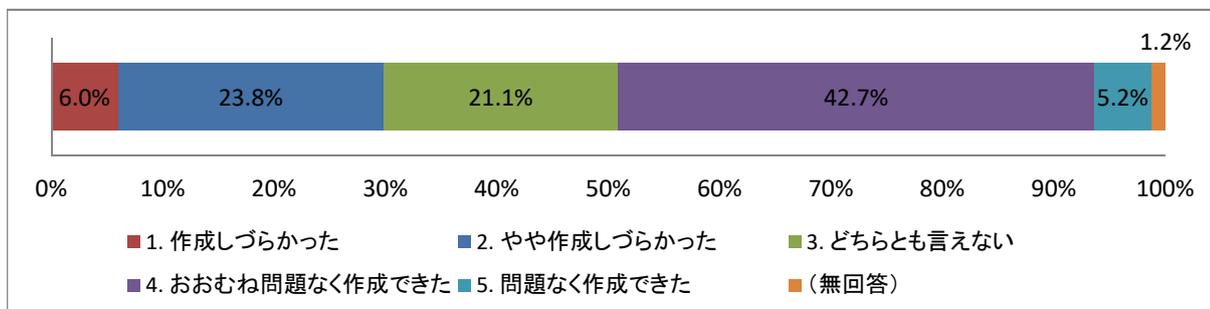
問2 今後の中期目標期間評価の方向性や評価方法のあり方について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

学部・研究科等の教育の「現況分析」に関する検証アンケート集計結果(法人からの回答)

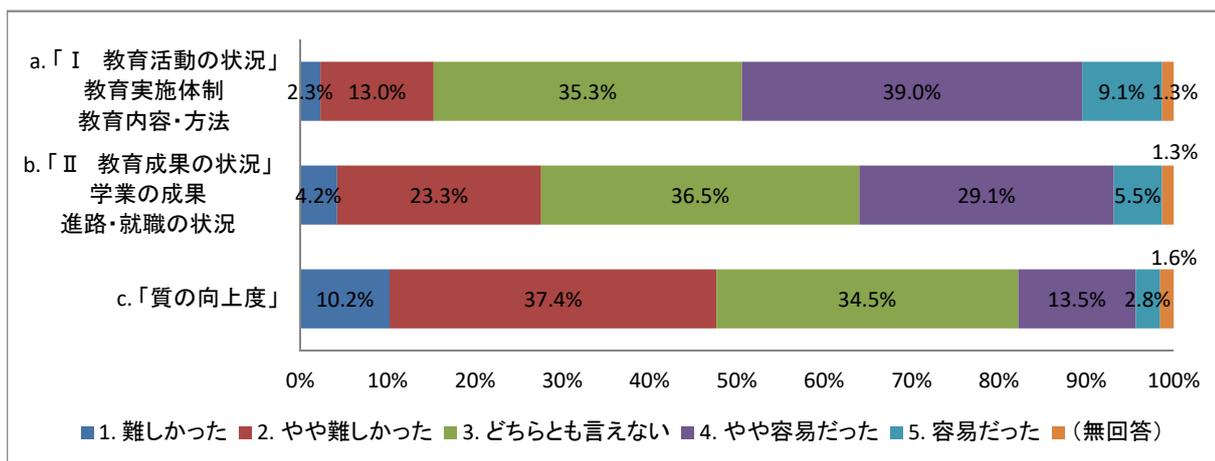
I 貴学部・研究科等における「教育に関する現況調査表」の作成作業について

問1 現況調査表の作成方法について

(1) 現況調査表では「想定する関係者とその期待」を記載し、学部・研究科等で想定する関係者の期待に
 応えているか、という視点で記載していただきました。このような方法で現況調査表を問題なく作成できまし
 たか。当てはまる番号をご回答ください。

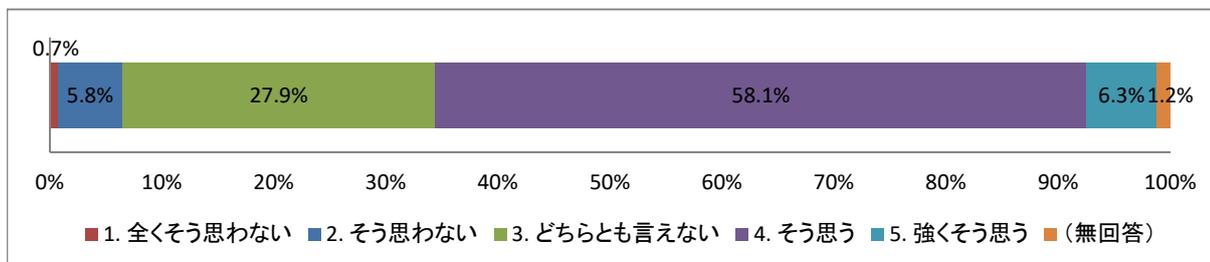


(2) 現況調査表では、分析項目「I 教育活動の状況」、「II 教育成果の状況」の各観点、及び「質の向上
 度」ごとに記載していただきました。それぞれの項目について、記載は容易でしたか、難しかったですか。
 項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

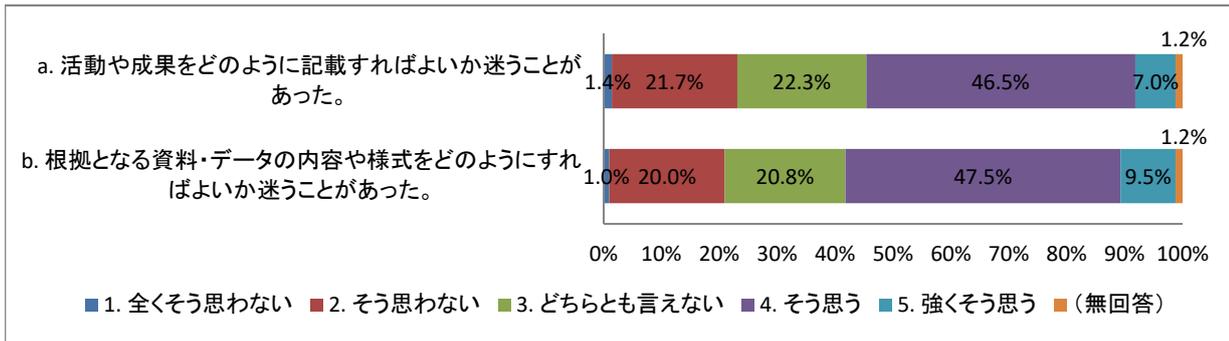


(3) 現況調査表では、評価項目・観点ごとに具体的に何を記載するかや、どのような根拠となる資料・データ
 を示すかは、各大学等に委ねていました。このことについて、項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

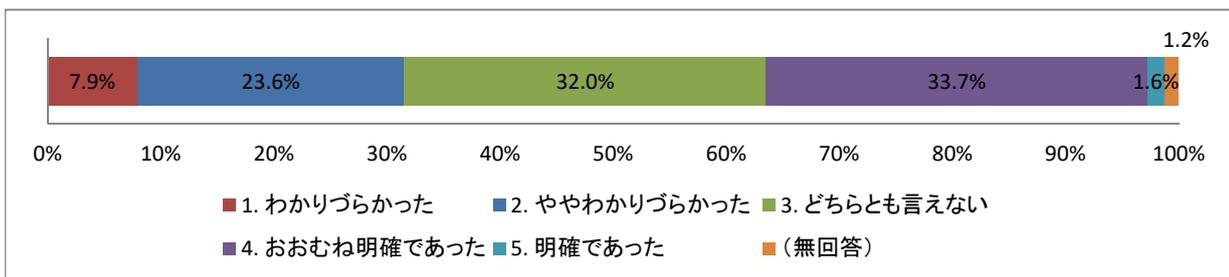
①このような方法により、貴学部・研究科等の個性的な取組を記載できたと思われますか。



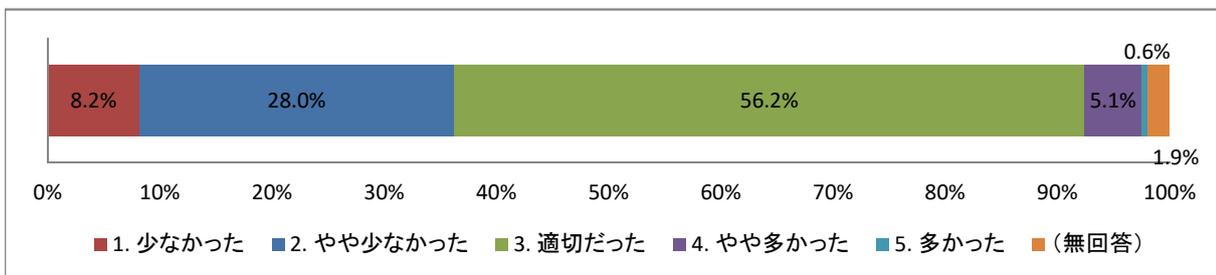
②このような方法によって、以下のような問題を感じましたか。



(4) 観点ごとに水準判定された際、実績報告書作成要領に記載された段階判定(「期待される水準を上回る」や「期待される水準にある」などの判定)の基準は明確でしたか。当てはまる番号をご回答ください。



(5) 現況調査表の字数の上限は、現況調査表を作成する上で適切でしたか。当てはまる番号をご回答ください。



(6) 現況調査表の作成について、作成しやすかった点や、作成が困難であった点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

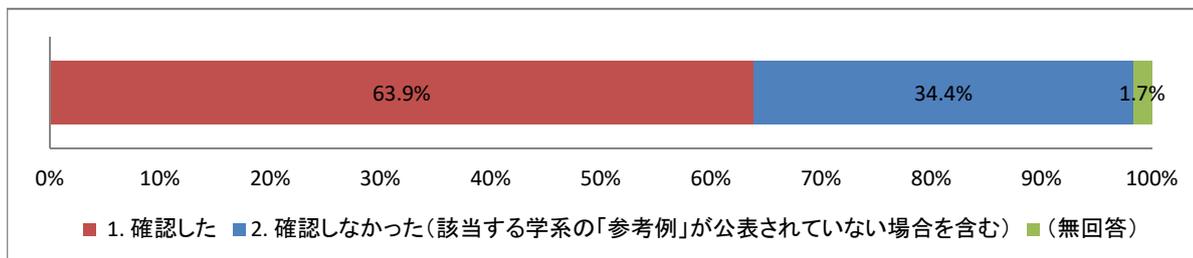
問2 参考資料の活用について

(1) 学系ごとの「参考例」について

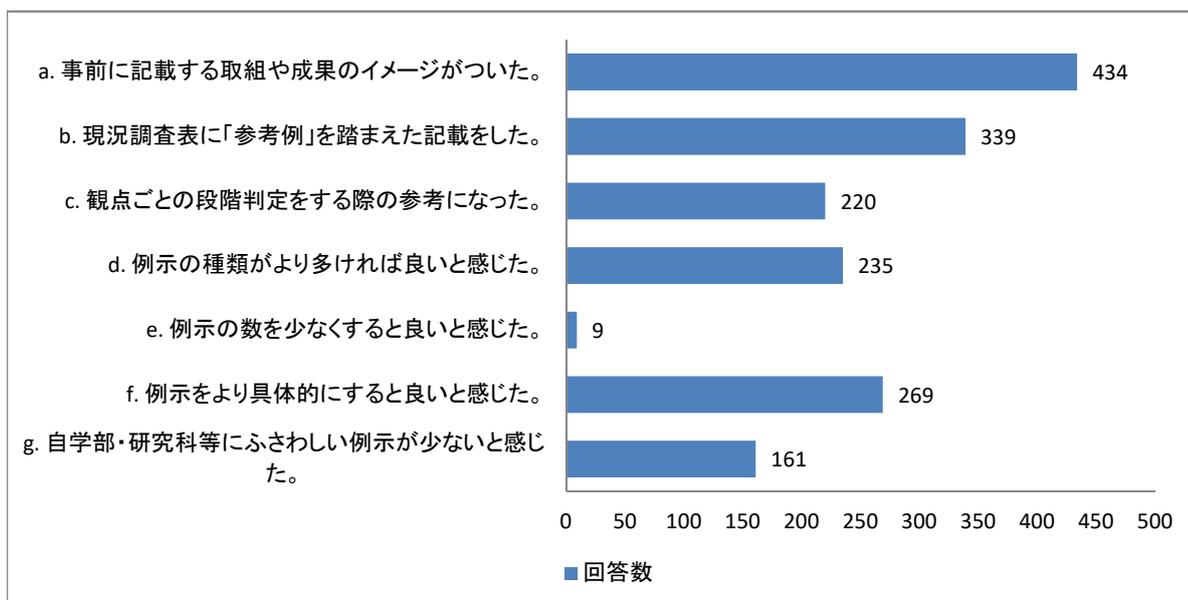
人文、社会、理学、工学、農学、保健、教育の7学系については、分野ごとの教育活動や成果の特徴を踏まえて、大学等が現況調査表に記載することが予想される取組や成果の事例を挙げた「参考例」を事前に公表しました。

http://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/syousai1/

①現況調査表の作成にあたり、「参考例」は確認されましたか。当てはまる番号をご回答ください。

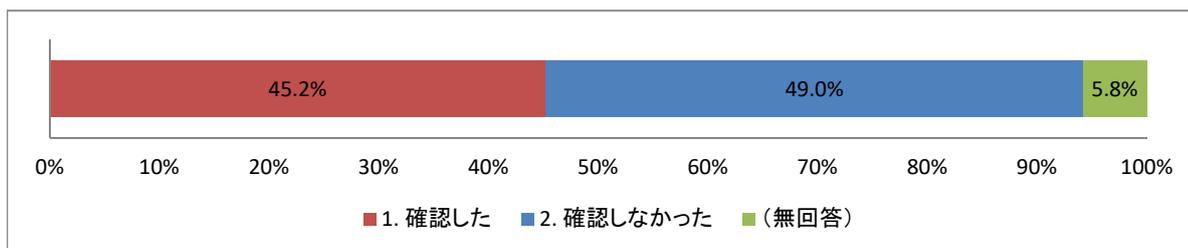


②上の問いで「確認した」と回答された場合、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。

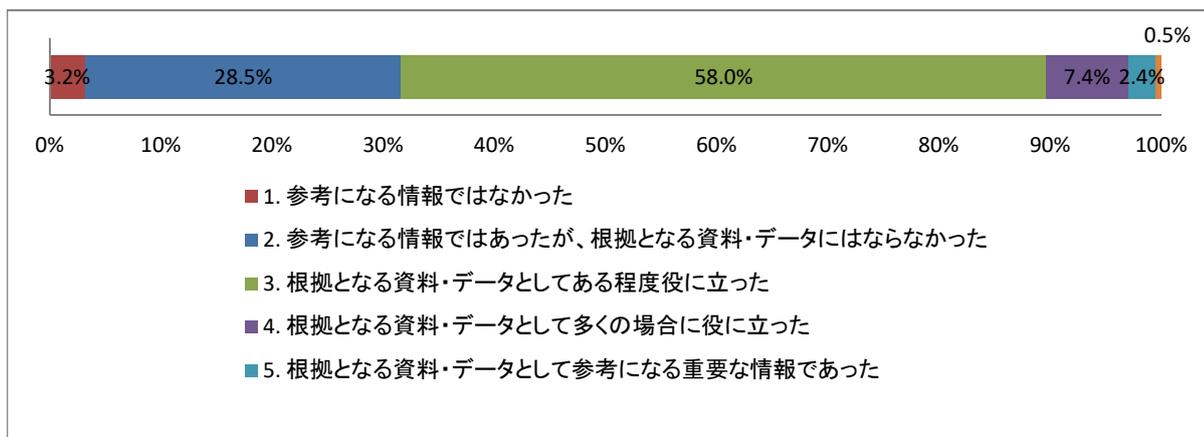


(2) 「データ分析集」について

①今回の評価では「データ分析集」として、学生数や外部資金の推移などの定量的データを提供しました。現況調査表を作成するにあたり、「データ分析集」を確認されましたか。当てはまる番号をご回答ください。



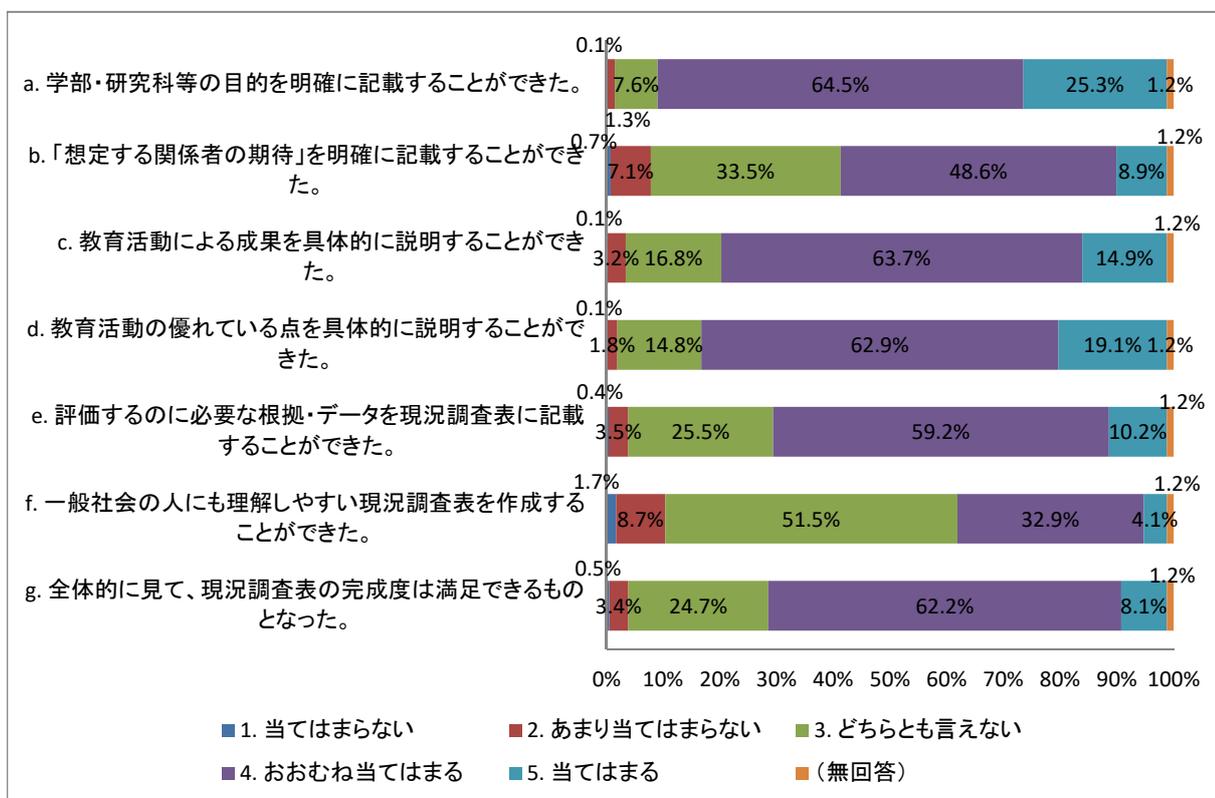
②上の問いで「確認した」と回答された場合、現況調査表を作成する上で根拠となる資料・データとして参考になりましたか。当てはまる番号をご回答ください。



(3) 参考資料について、「参考例」、「データ分析集」へのご意見(たとえば、その内容や、提供時期・方法等)や、大学等に提供することが必要な他の参考情報についてのご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問3 貴大学等から提出した現況調査表について

提出した現況調査表について、どのような感想をお持ちですか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

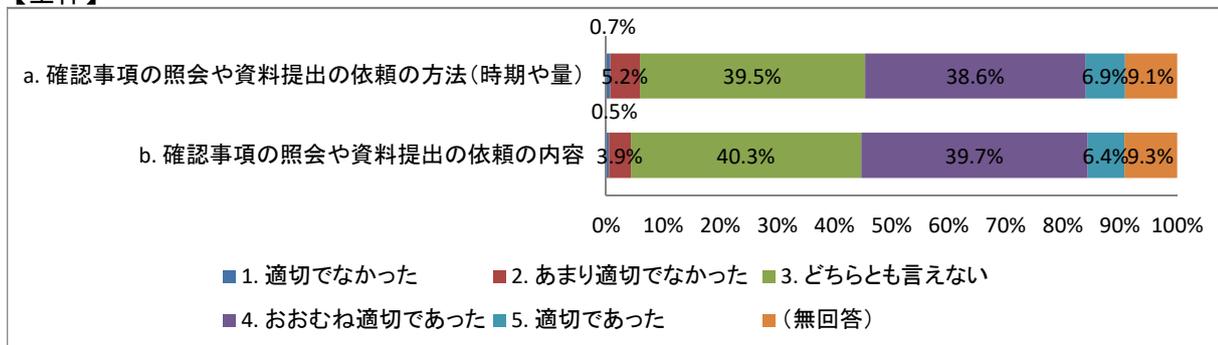


Ⅱ 大学改革支援・学位授与機構による評価方法・評価結果について

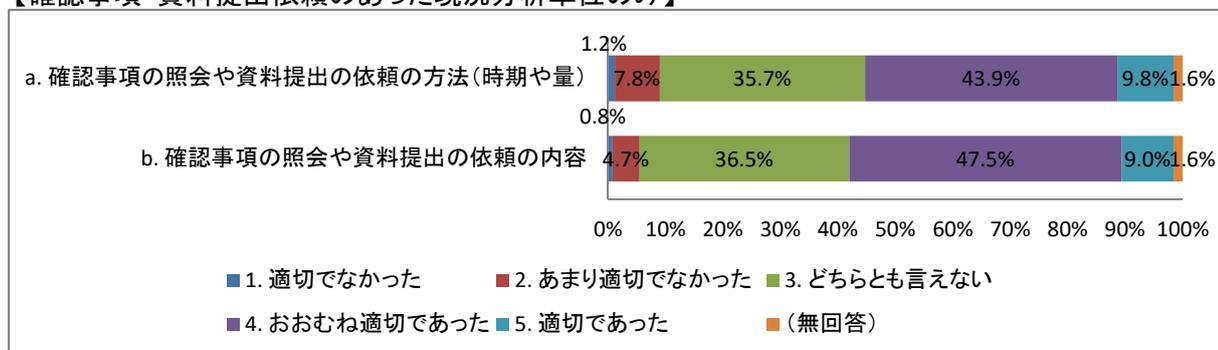
問1 確認事項の照会について

今回の評価では、評価者から大学等に確認事項の照会や資料提出の依頼を行いました。これらの方法について、適切だったと感じますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

【全体】

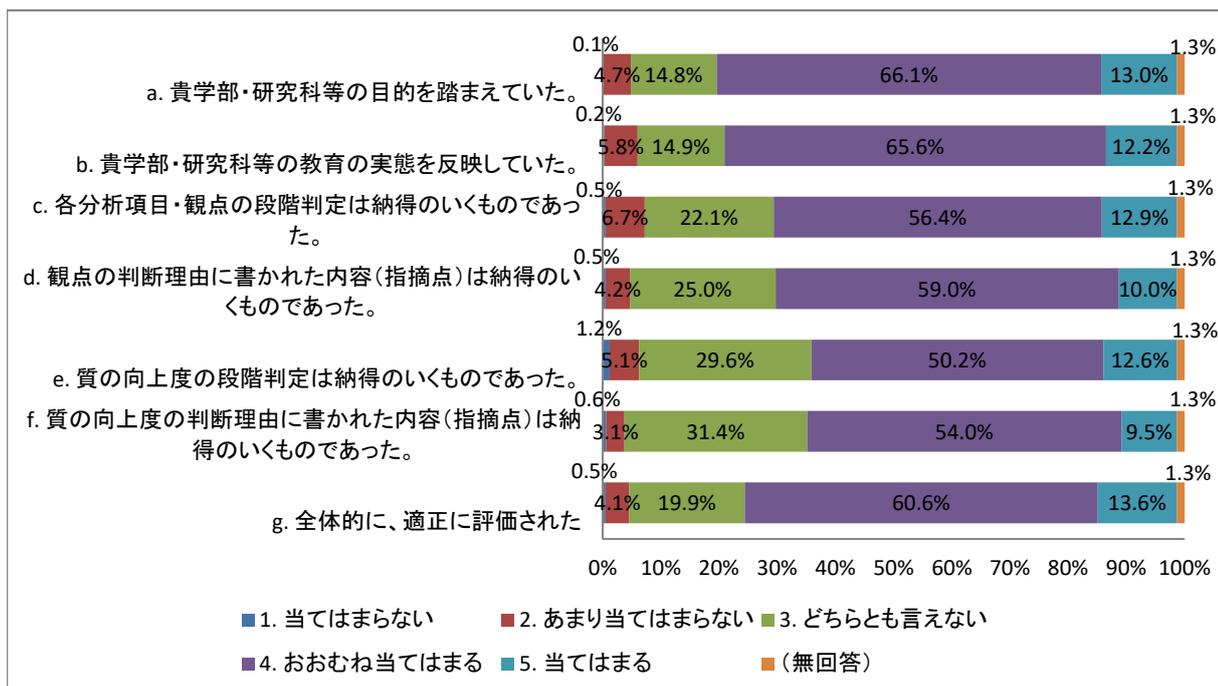


【確認事項・資料提出依頼のあった現況分析単位のみ】



問2 評価結果(現況分析結果)について

平成29年6月に公表しました貴学部・研究科等の評価結果(現況分析結果)の内容について、全体的にどのように思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

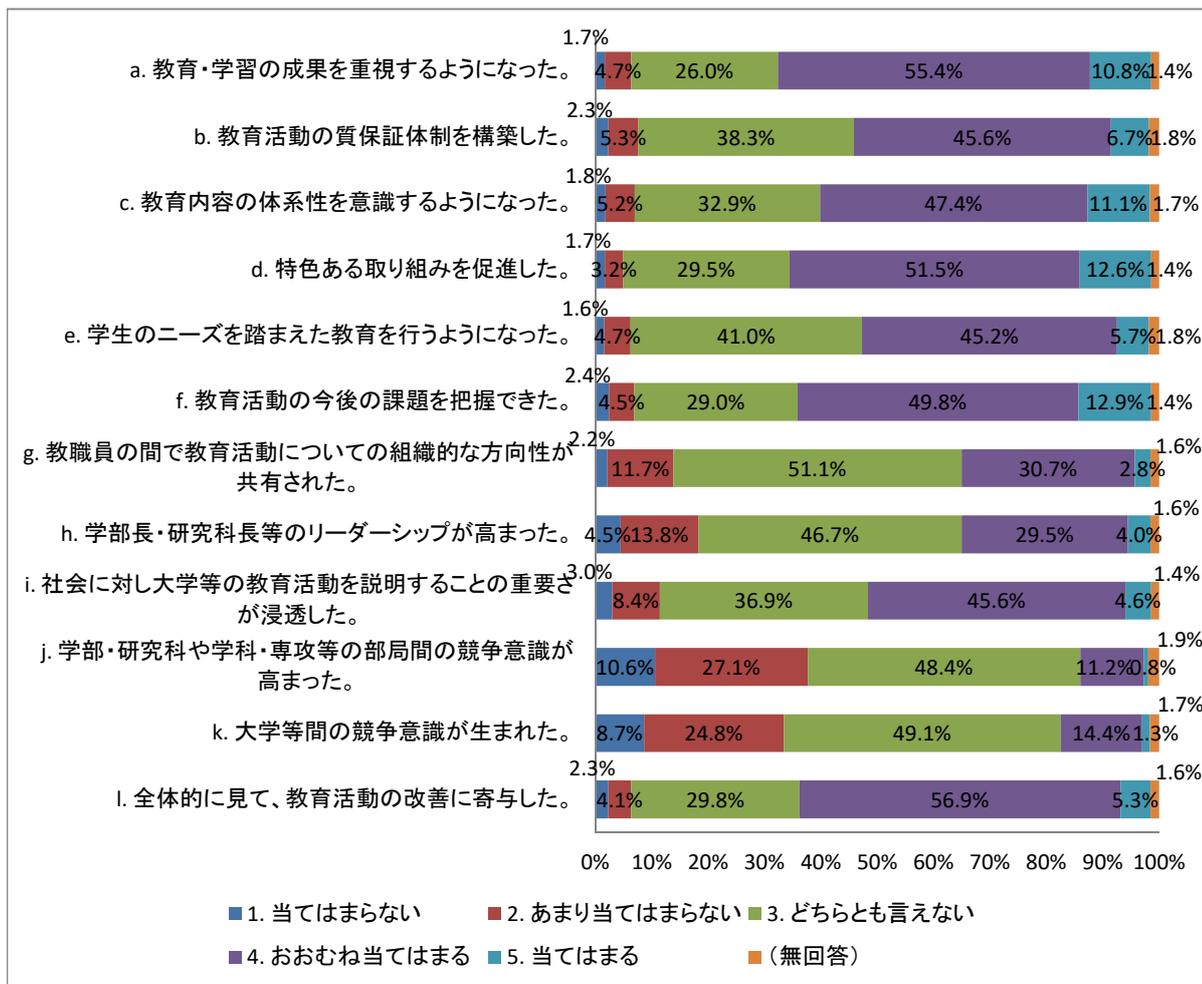


問3 評価報告書や評価結果について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

Ⅲ 評価による貴学部・研究科等の教育活動への効果・影響について

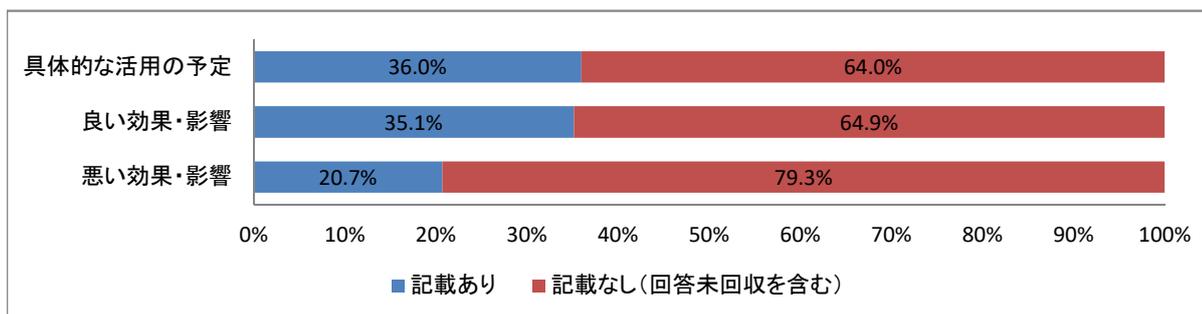
問1 評価の効果について

今回行った、教育の現況を自己分析して報告し、外部者の評価を受けるという一連の過程によって、貴学部・研究科等において以下の効果や影響があった(あるいは今後に顕在化する)と思われますか。項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



問2 評価結果の活用予定について

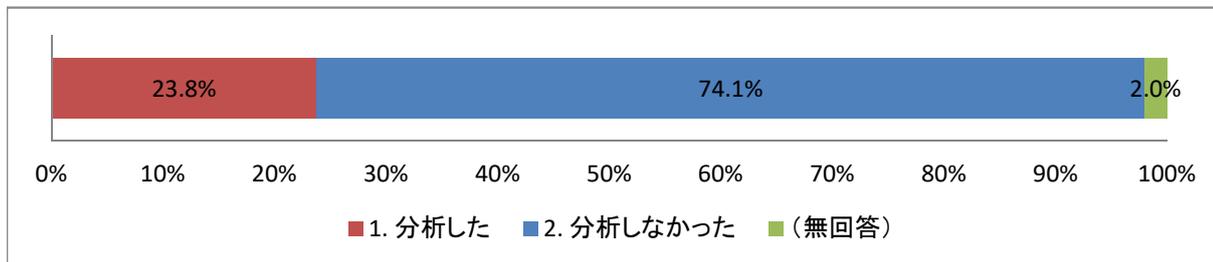
貴学部・研究科等において、今回の現況分析結果の具体的な活用の予定や、評価実施による良い効果・影響、悪い効果・影響がありましたら、以下にご記入ください。



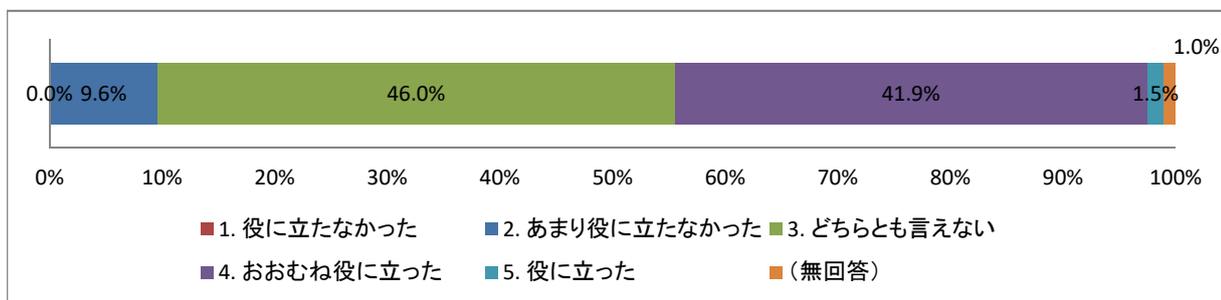
問3 他大学等の評価結果の分析状況について

同一学系内の他大学等の学部・研究科等について、評価結果（現況分析結果）の内容の分析を行いましたか。当てはまる番号をご回答ください。

(1) 他大学等の評価結果の内容を分析しましたか。



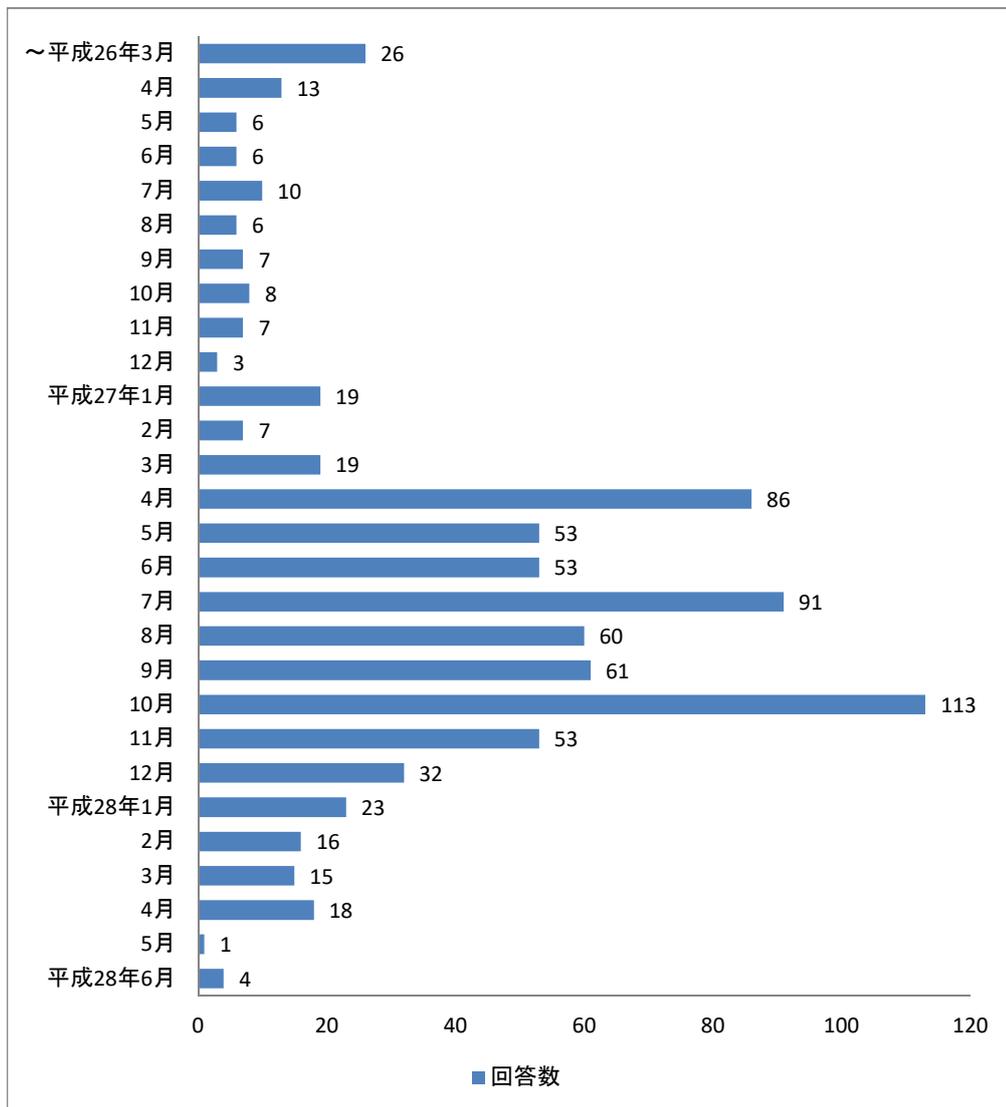
(2) 上の問いで「分析した」と回答された場合、分析した結果は役に立ちましたか。



IV 自己評価のための体制等について

問1 自己評価の体制・作業負担について

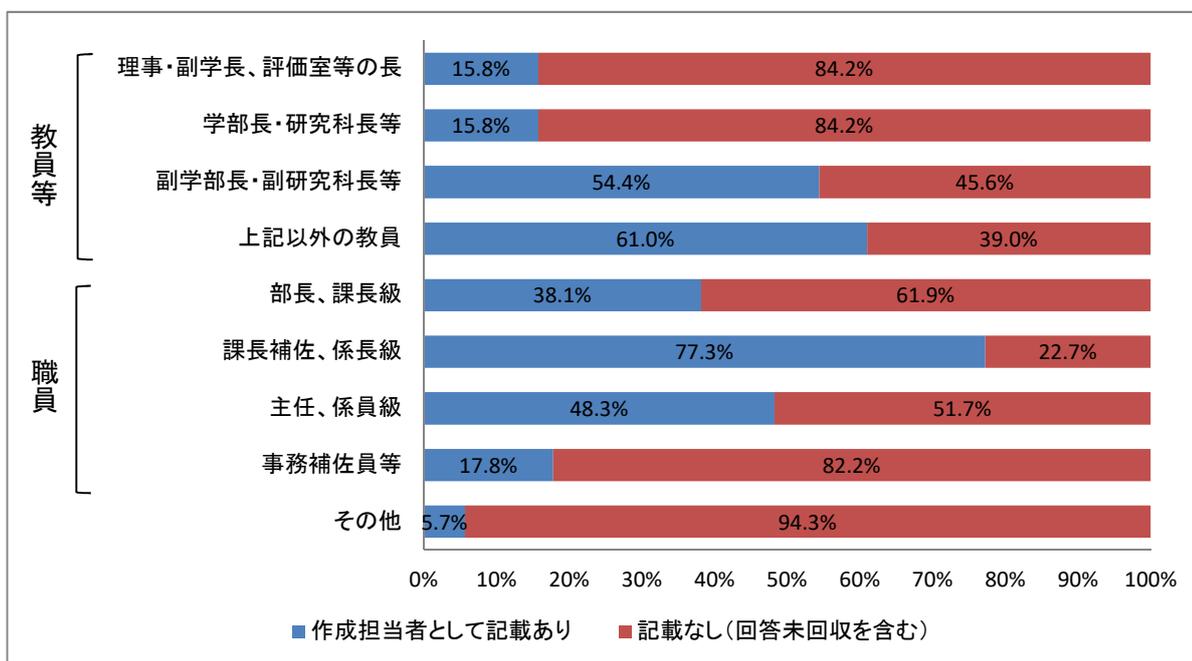
(1) 教育に関する現況調査表の作成(各分析項目・観点の記載)を開始した時期をご回答ください。



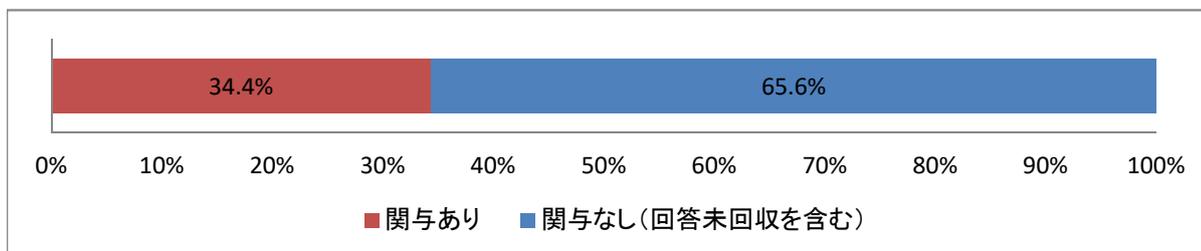
(2) 上の問いで回答された作成開始時期以降、教育に関する現況調査表の作成作業を行った体制についてお聞きします。

①学部・研究科等内に自己評価委員会などの組織を設置して現況調査表の作成作業を行った場合、その大まかな体制(組織構成および、それらの構成員数・現況調査表作成に係る会議の開催回数)を以下にご記入ください。(自由記述)

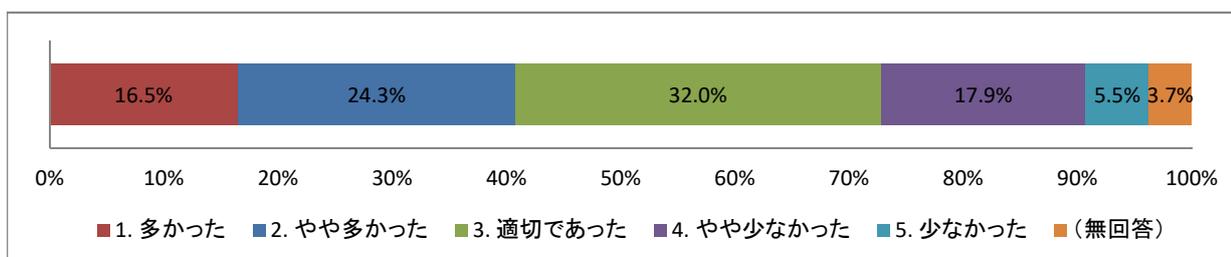
②貴学部・研究科等の現況調査表の作成を主な職務として担当した教員・職員のうち、教育に関する現況調査表の作成(達成状況報告書は除く)を担当したおおむねの人数について、フルタイム換算により分る範囲でご回答ください(たとえば、現況調査表作成開始以降から提出までの職務の半分が、教育の現況調査表作成に関する業務であれば、0.5人。フルタイム換算での回答がしづらければ、人/日、人/月などの回答でも結構です)。



(3) 教育に関する現況調査表の作成において、大学等内あるいは部局内において教育に関するデータの収集や分析を行う専門的な部署や人員(IRなど)が関与しましたか。関与していた場合、関与した専門部署名や専門人材の職名等を以下にご記入いただき、関与の程度を以下の5段階からご回答ください。



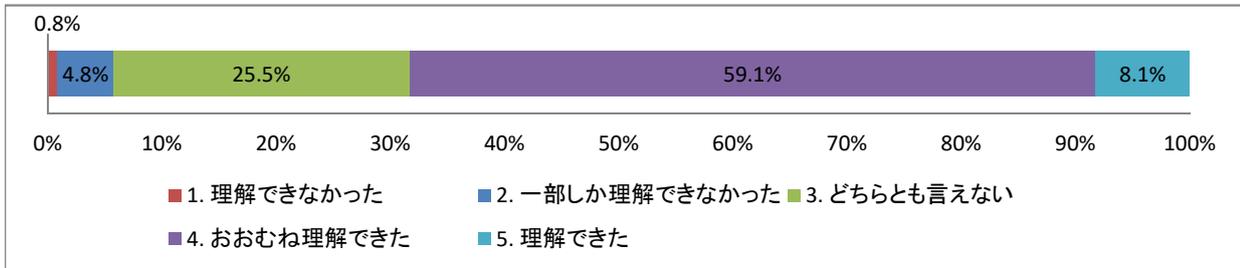
(4) 今回の現況調査表の作成に要した人員・時間は、国立大学法人評価の持つ意義を鑑みて、多かったですか、少なかったですか。当てはまる番号をご回答ください。



(5) 今回の現況調査表の作成作業を効率的に実施できた要因、反対に作業負担が多くなった要因がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問2 実績報告書作成要領について

現況調査表の作成方法は、実績報告書作成要領により理解できましたか。当てはまる番号をご回答ください。

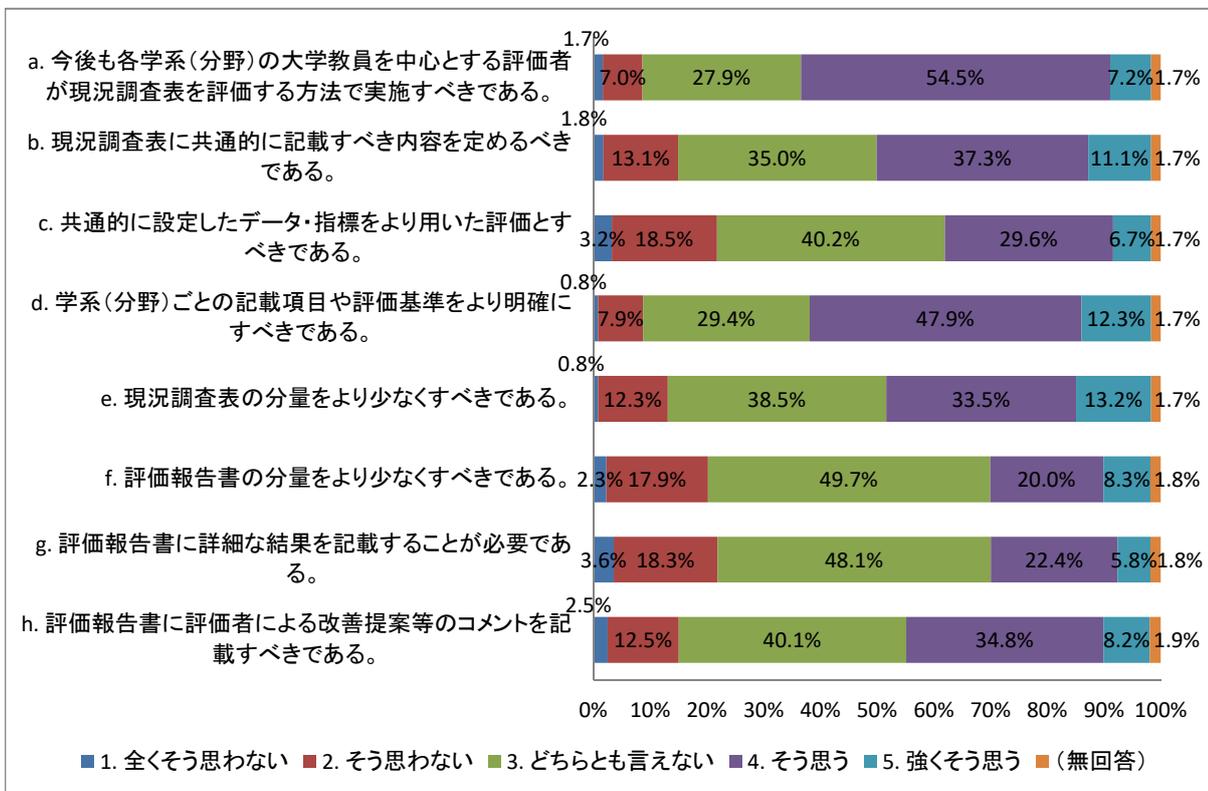


問3 評価の作業全般について、お気づきの点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

V 今後の評価のあり方について

問1 今後の評価の方向性について

第3期中期目標期間の国立大学法人評価では、どのような評価のあり方を望まれますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



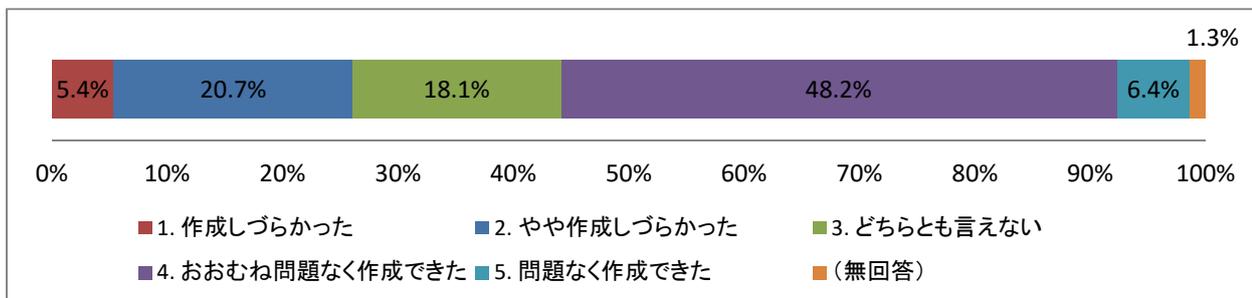
問2 今後の現況分析のあり方について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

学部・研究科等の研究の「現況分析」に関する検証アンケート集計結果(法人からの回答)

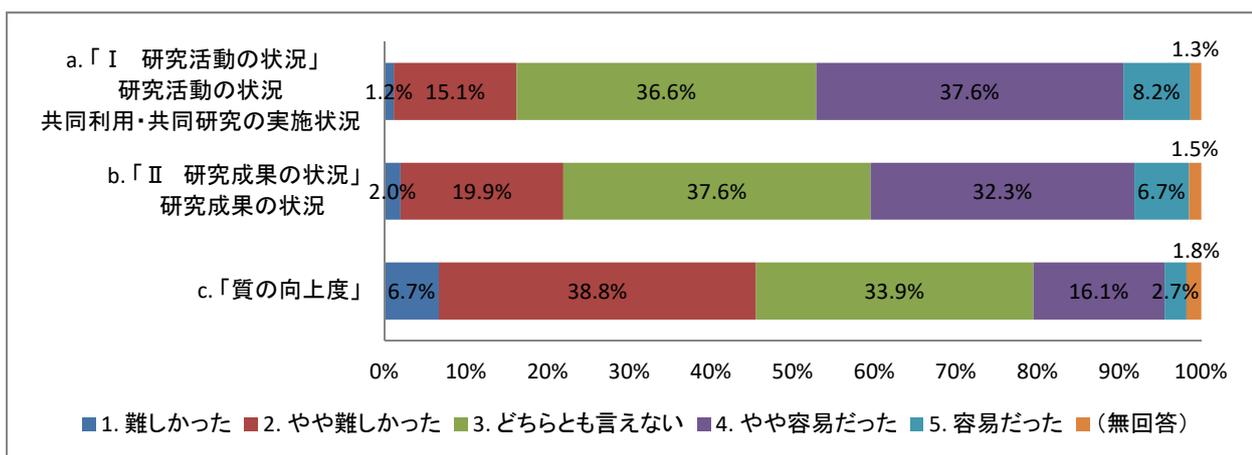
I 貴学部・研究科等における「研究に関する現況調査表」の作成作業について

問1 現況調査表の作成方法について

(1) 現況調査表では「想定する関係者とその期待」を記載し、学部・研究科等で想定する関係者の期待に応じているか、という視点で記載していただきました。このような方法で現況調査表を問題なく作成できましたか。当てはまる番号をご回答ください。

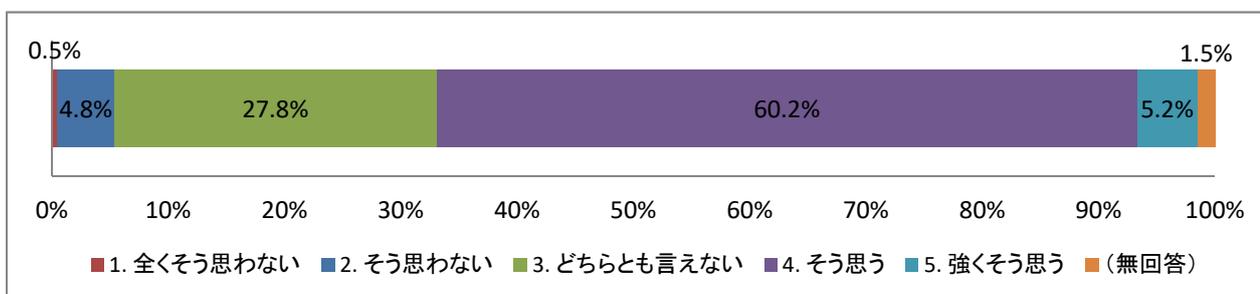


(2) 現況調査表では、分析項目「I 研究活動の状況」、「II 研究成果の状況」の各観点、及び「質の向上度」ごとに記載していただきました。それぞれの項目について、記載は容易でしたか、難しかったですか。項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

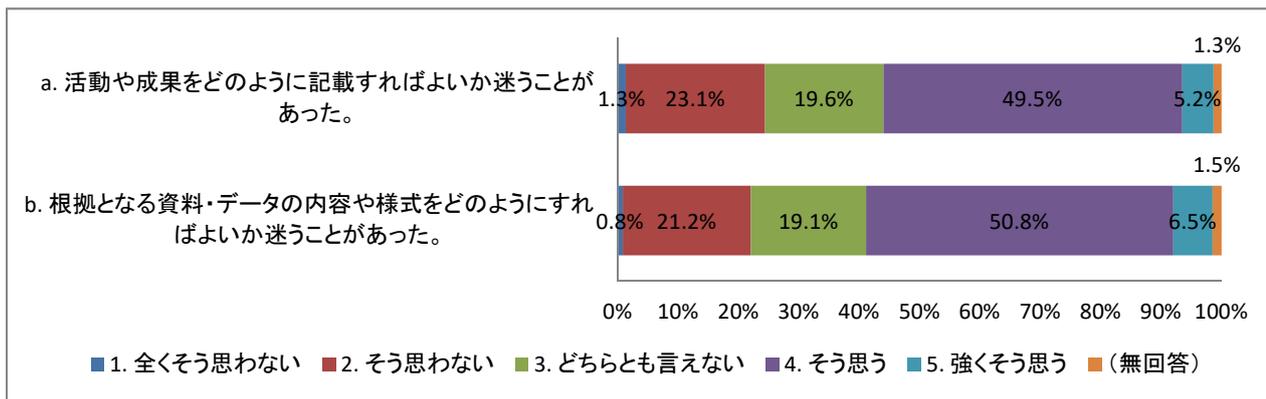


(3) 現況調査表では、評価項目・観点ごとに具体的に何を記載するかや、どのような根拠となる資料・データを示すかは、各大学等に委ねていました。このことについて、項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

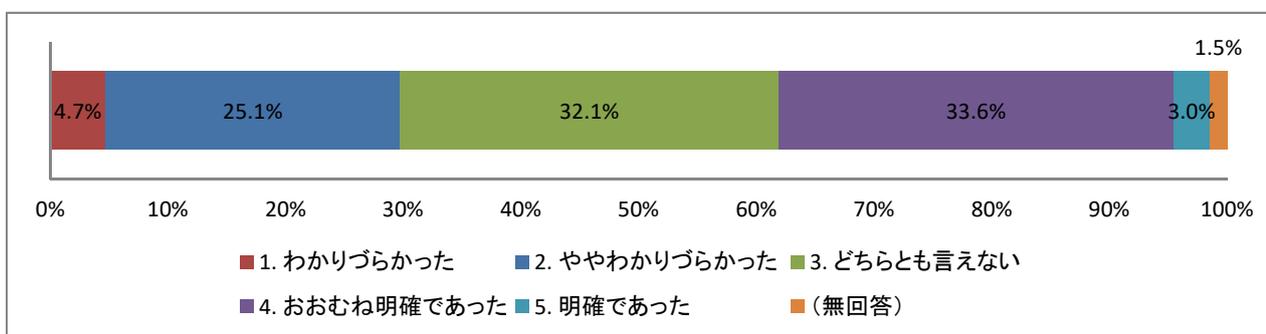
①このような方法により、貴学部・研究科等の個性的な取組を記載できたと思われましたか。



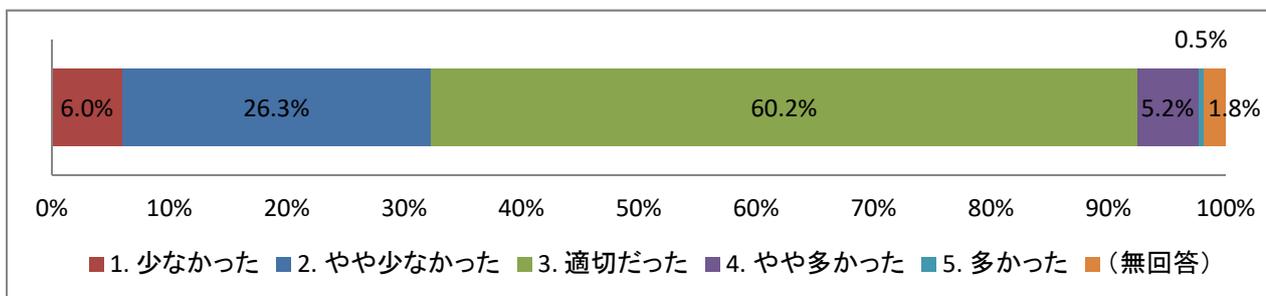
②このような方法によって、以下のような問題を感じられましたか。



(4) 観点ごとに水準判定された際、実績報告書作成要領に記載された段階判定(「期待される水準を上回る」や「期待される水準にある」などの判定)の基準は明確でしたか。当てはまる番号をご回答ください。



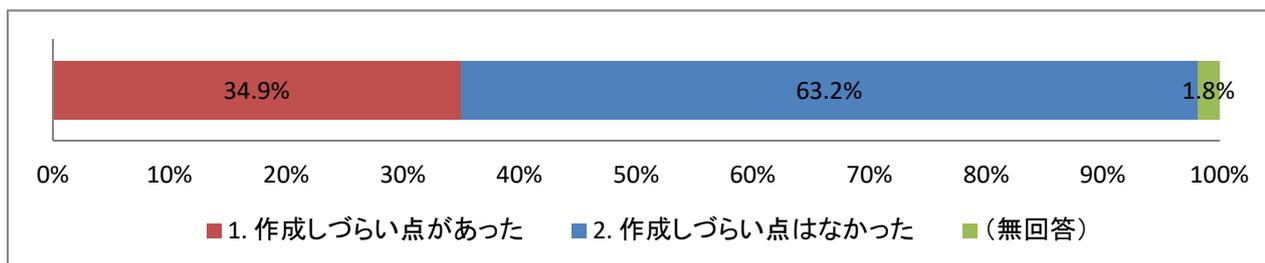
(5) 現況調査表の字数の上限は、現況調査表を作成する上で適切でしたか。当てはまる番号をご回答ください。



(6) 現況調査表の作成について、作成しやすかった点や、作成が困難であった点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問2 研究業績説明書について

(1) 今回の研究業績説明書では、論文等ごとの提出ではなく、1つの「研究業績」に代表的な研究成果(論文等)を最大3つまで記載する方式をとり、「研究業績」を単位として提出していただきました。この方法で研究業績説明書を作成しづらい点がありましたか。当てはまる番号をご回答いただき、作成しづらい点があった場合は、具体的な内容もご記入ください。

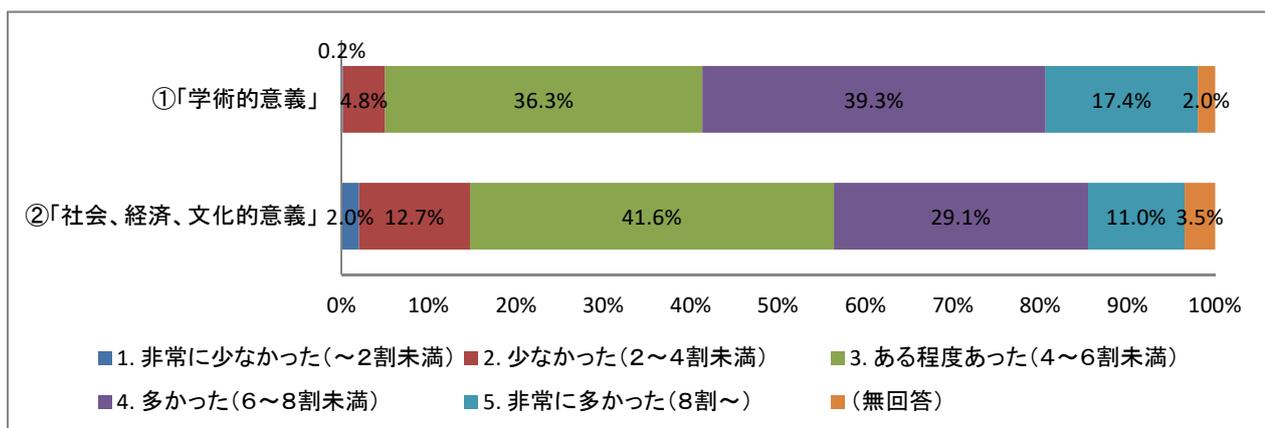


作成しづらい点があった場合、具体的な内容を以下にご記入ください。(自由記述)

(2) 研究業績説明書では、各研究業績について「SS」あるいは「S」と判断した根拠を第三者による評価結果や客観的指標に基づいて記載していただきました。

①「学術的意義」を有すると判断した研究業績について、根拠を十分に記載できましたか。提出した業績の中で根拠を十分に記載できたと思う割合を以下の5段階からご回答ください。

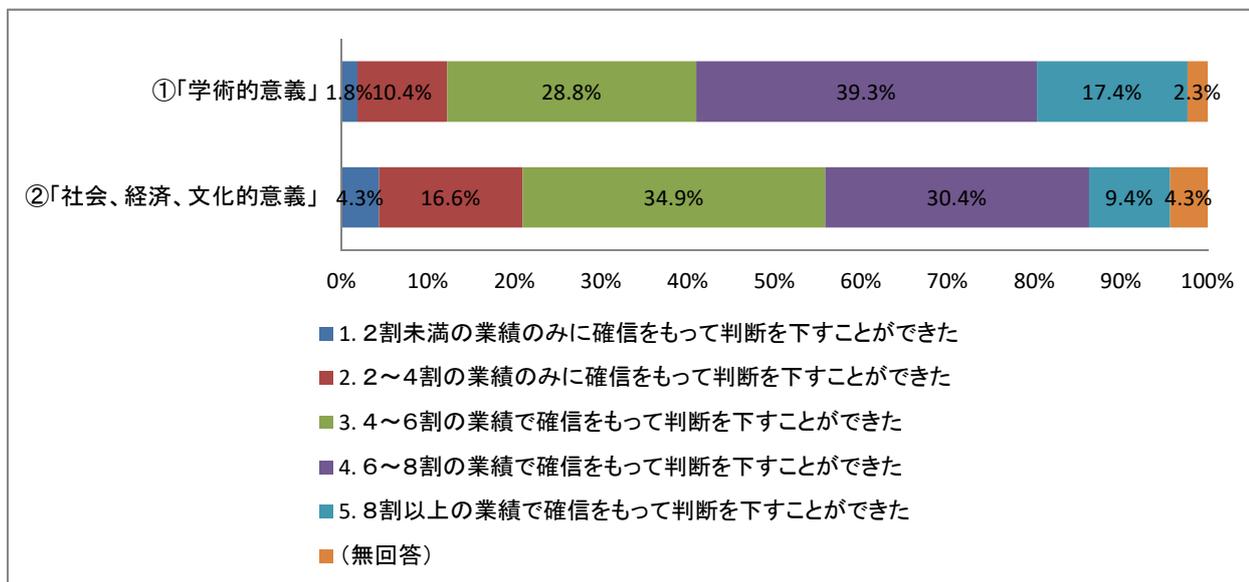
②「社会、経済、文化的意義」を有すると判断した研究業績について、根拠を十分に記載できましたか。提出した業績の中で根拠を十分に記載できたと思う割合を以下の5段階からご回答ください。



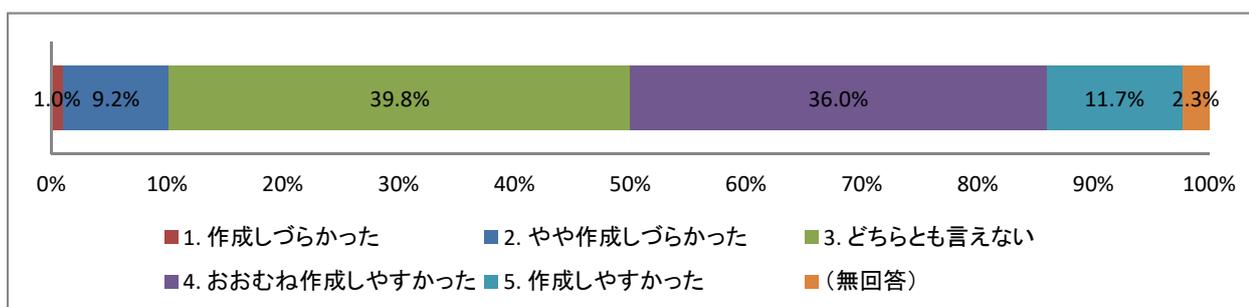
(3) 研究業績の選定に際しては、「学術的意義」および／あるいは「社会、経済、文化的意義」について、「SS」あるいは「S」に該当する研究業績を選定していただきました。

①学術的意義について、「SS」、「S」、「S未満」の間の判断はしやすかったですか。提出した研究業績の中で確信をもって判断を下すことができた割合を以下の5段階からご回答ください。

②社会、経済、文化的意義について、「SS」、「S」、「S未満」の間の判断はしやすかったですか。提出した研究業績の中で確信をもって判断を下すことができた割合を以下の5段階からご回答ください。



(4) 第1期中期目標期間の国立大学法人評価では、各研究業績の意義について「学術的意義」と「社会、経済、文化的意義」のどちらか一方から選択することを求めていましたが、今回の評価では、各研究業績で両方の意義を同時に選択することも可能としました。それにより研究業績説明書は作成しやすかったですか、作成しづらかったですか。当てはまる番号をご回答ください。

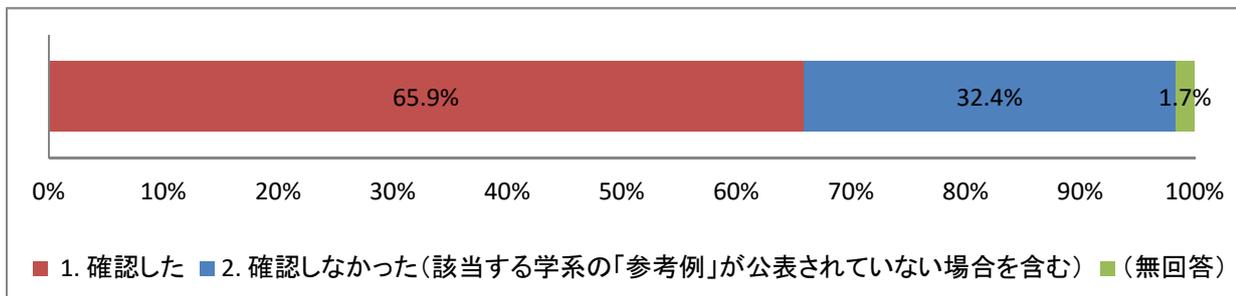


(5) 今回の研究業績説明書の作成において、特に困難であった点や、適切であったと思われた点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

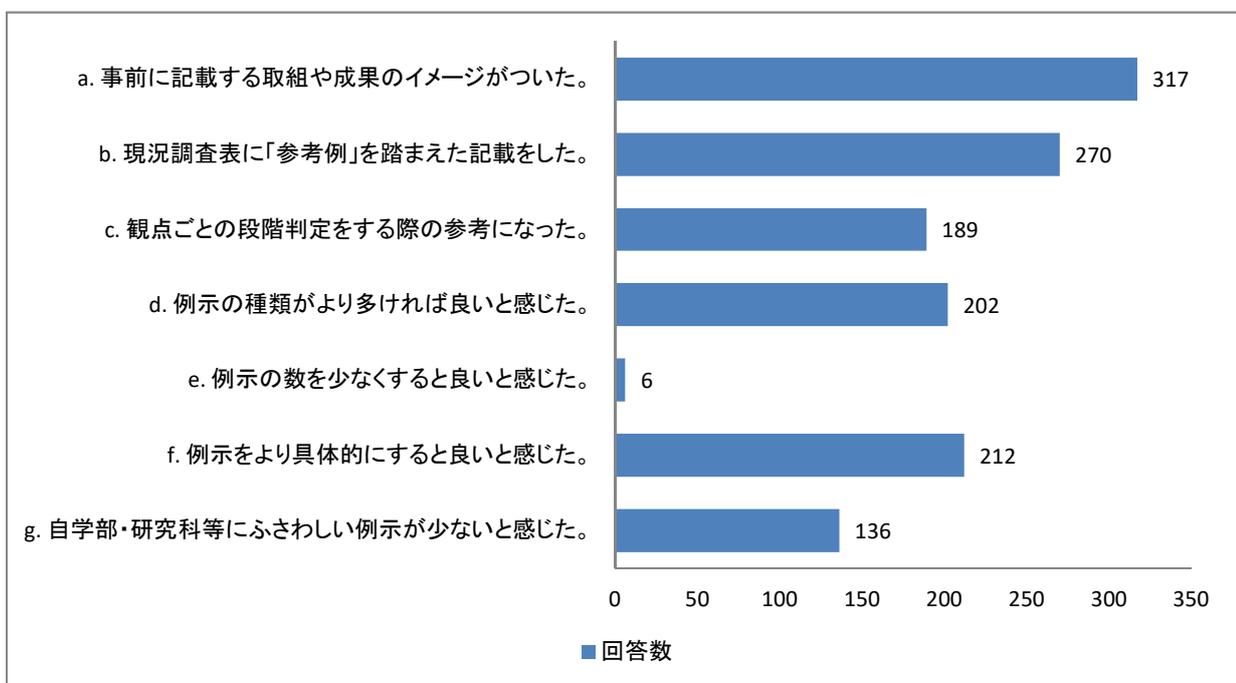
問3 参考資料の活用について
 (1) 学系ごとの「参考例」について

人文、社会、理学、工学、農学、保健、教育の7学系については、分野ごとの研究活動や成果の特徴を踏まえて、大学等が現況調査表に記載することが予想される取組や成果の事例を挙げた「参考例」を事前に公表しました。

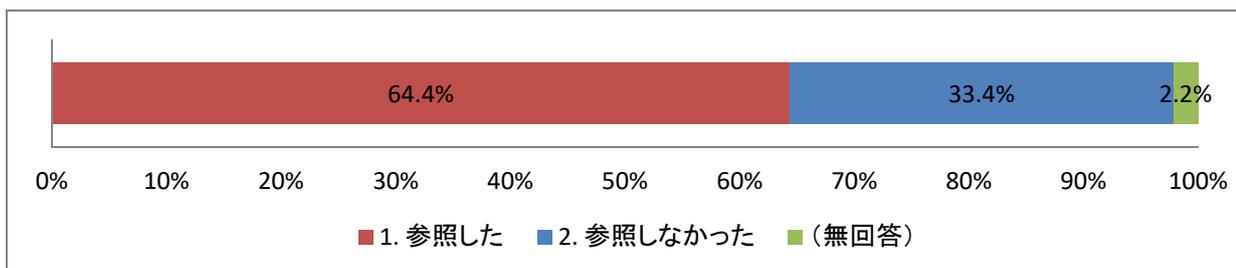
① 現況調査表の作成にあたり、「参考例」は確認されましたか。当てはまる番号をご回答ください。



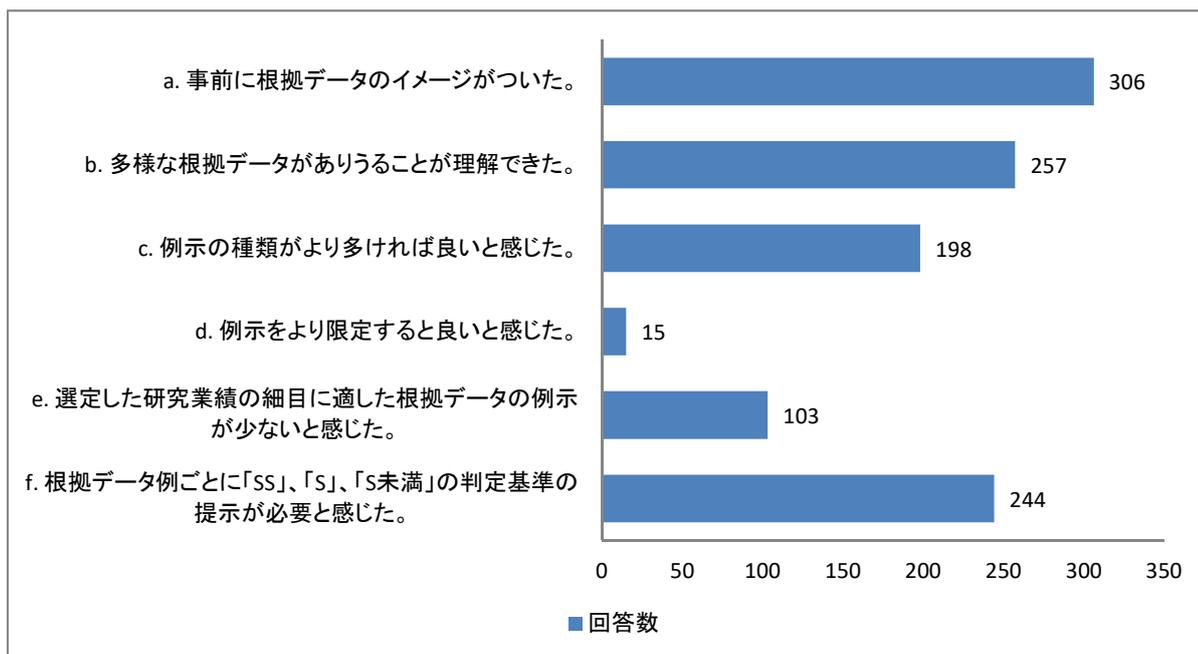
② 上の問いで「確認した」と回答された場合、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。



③ 「参考例」には、研究業績説明書を作成する際に参考にし得るよう「卓越した研究業績の根拠・データ例」を記載していました。研究業績説明書の作成において参照されましたか。当てはまる番号をご回答ください。

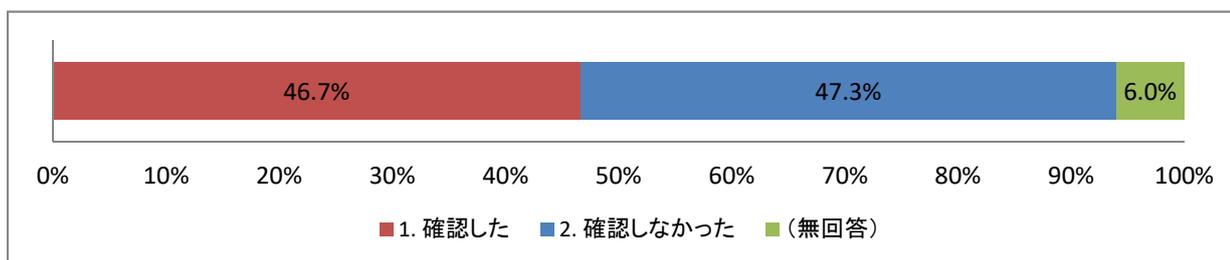


④上の問いで「参照した」と回答された場合、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。

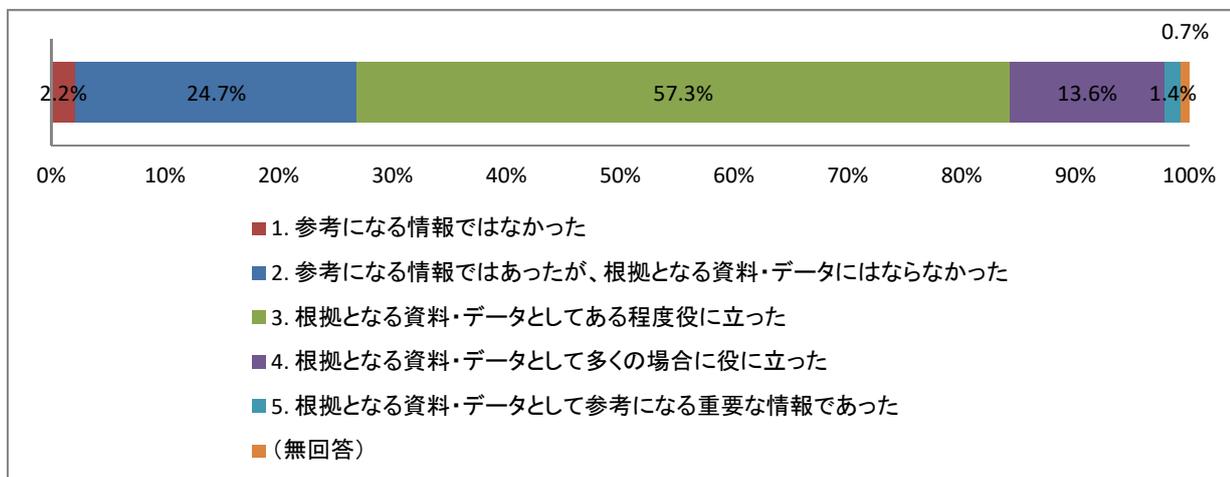


(2)「データ分析集」について

①今回の評価では「データ分析集」として、学生数や外部資金の推移などの定量的データを提供しました。現況調査表を作成するにあたり、「データ分析集」を確認されましたか。当てはまる番号をご回答ください。



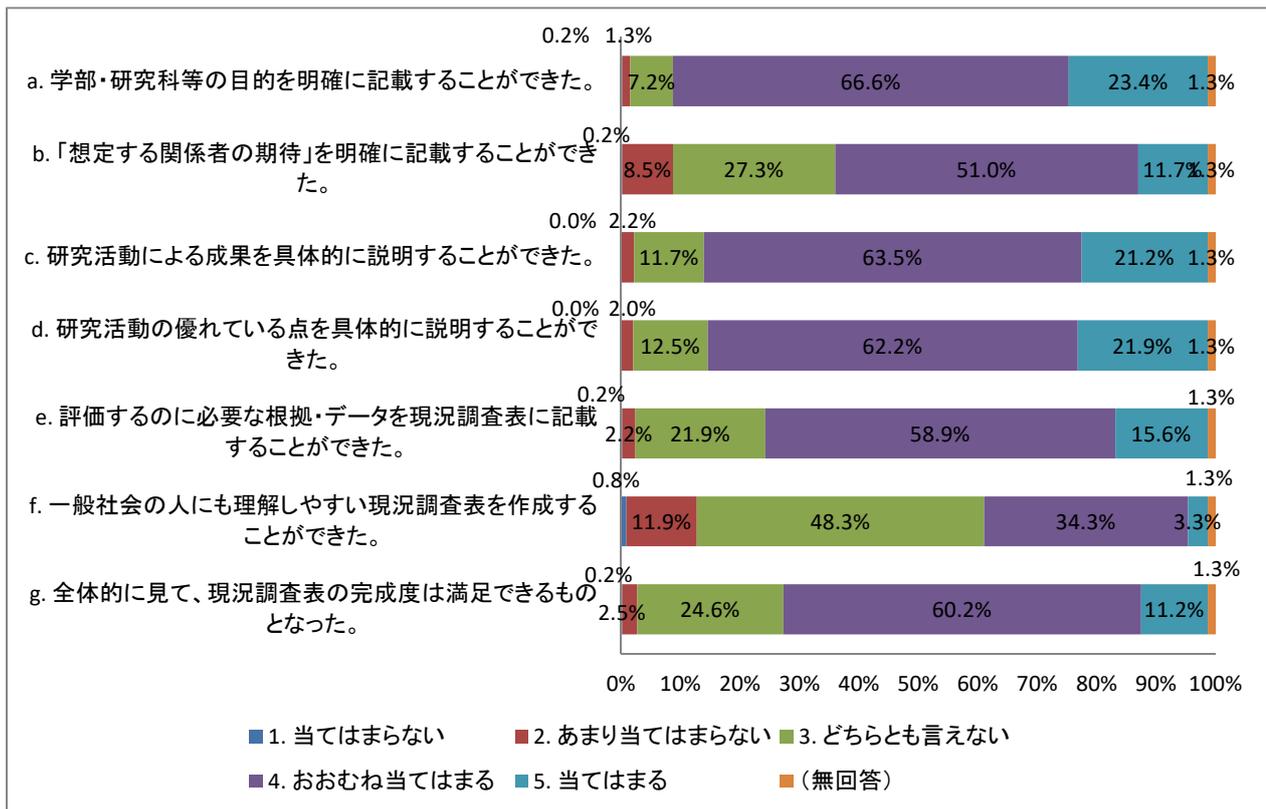
②上の問いで「確認した」と回答された場合、現況調査表を作成する上で根拠となる資料・データとして参考になりましたか。当てはまる番号をご回答ください。



(3) 参考資料について、「参考例」、「データ分析集」へのご意見(たとえば、その内容や、提供時期・方法等)や、大学等に提供することが必要な他の参考情報についてのご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問4 貴大学等から提出した現況調査表について

提出した現況調査表について、どのような感想をお持ちですか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

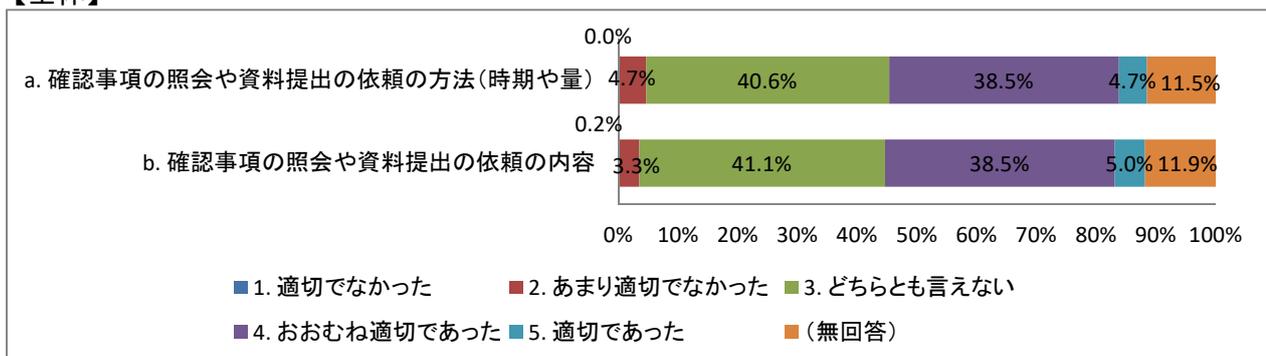


II 大学改革支援・学位授与機構による評価方法・評価結果について

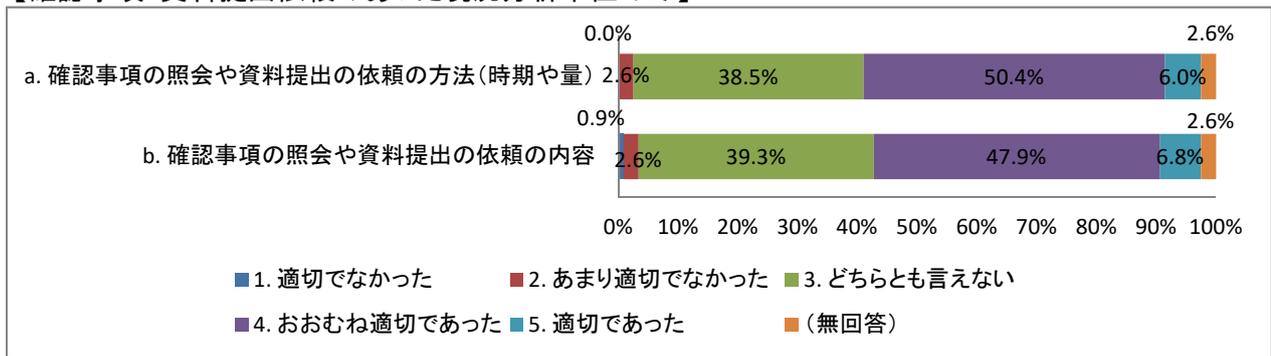
問1 確認事項の照会について

今回の評価では、評価者から大学等に確認事項の照会や資料提出の依頼を行いました。これらの方法について、適切だったと感じますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

【全体】

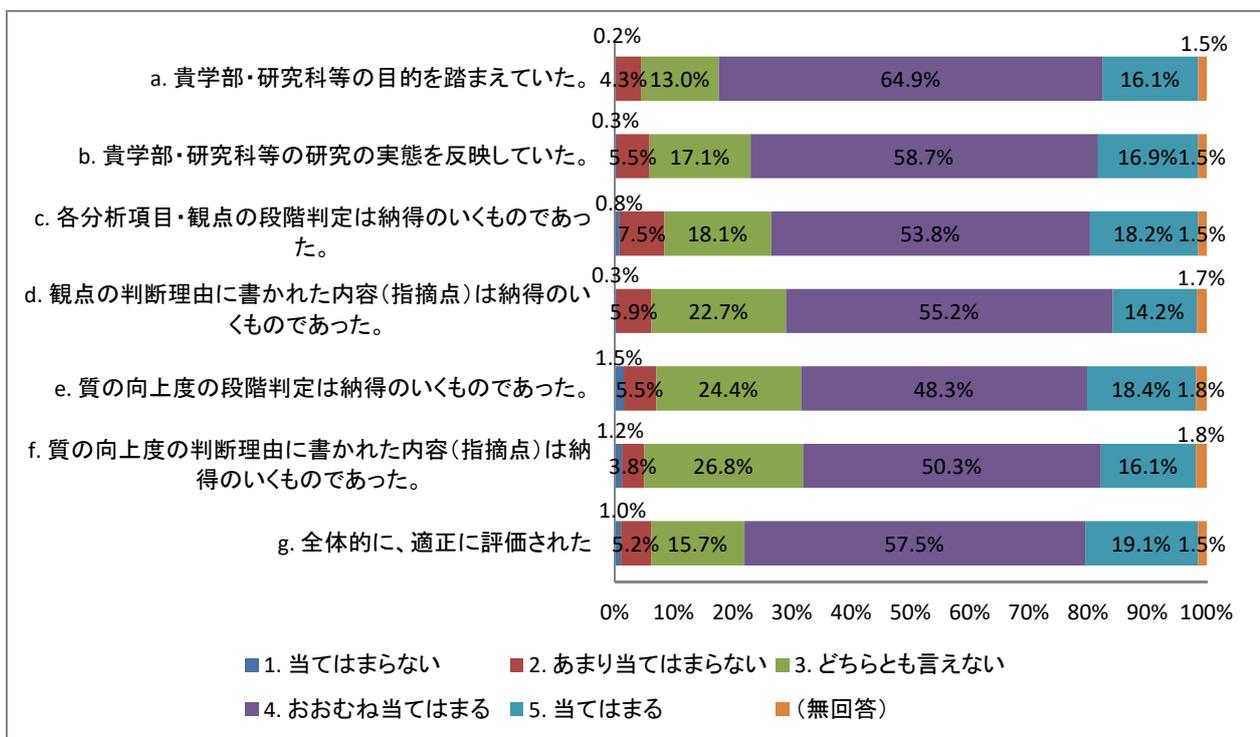


【確認事項・資料提出依頼のあった現況分析単位のみ】



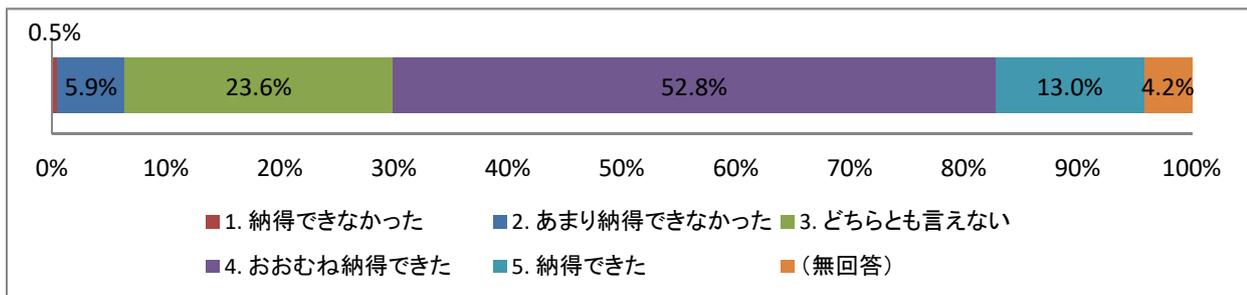
問2 評価結果(現況分析結果)について

平成29年6月に公表しました貴学部・研究科等の評価結果(現況分析結果)の内容について、全体的にどのように思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

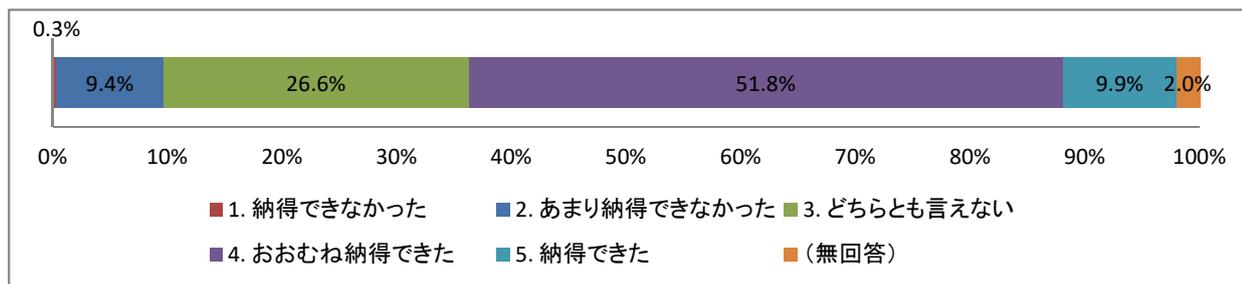


問3 研究業績の水準判定結果について

(1) 現況分析結果には、2人の評価者が「SS」と判定した研究業績の名称を記載しました。その結果は納得のいくものでしたか。当てはまる番号をご回答ください。



(2) 現況分析結果には、提出された研究業績のうち、「SS」や「S」と判定された割合を記載しました。その結果は納得のいくものでしたか。当てはまる番号をご回答ください。

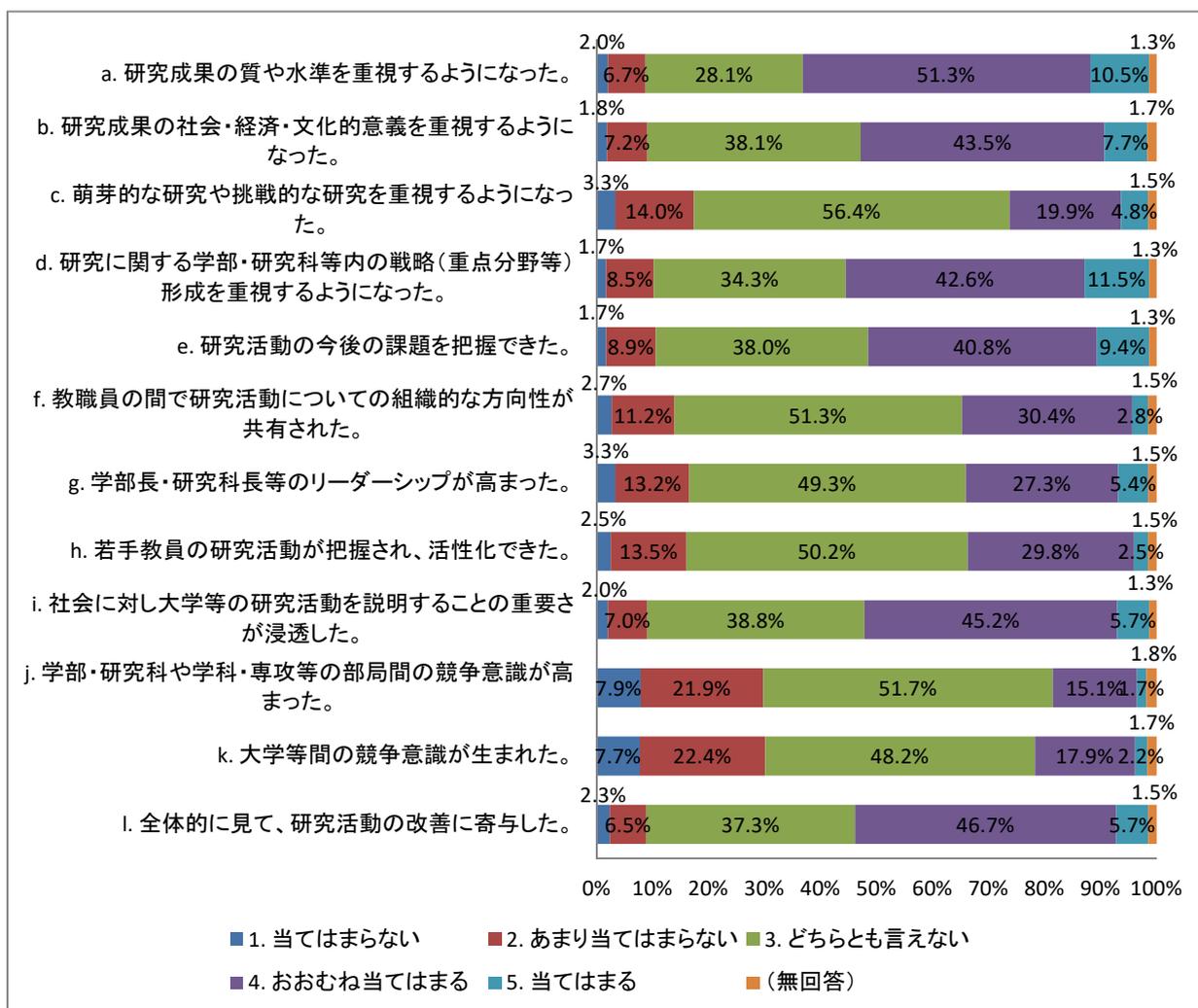


問4 評価報告書や評価結果について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

Ⅲ 評価による貴学部・研究科等の研究活動への効果・影響について

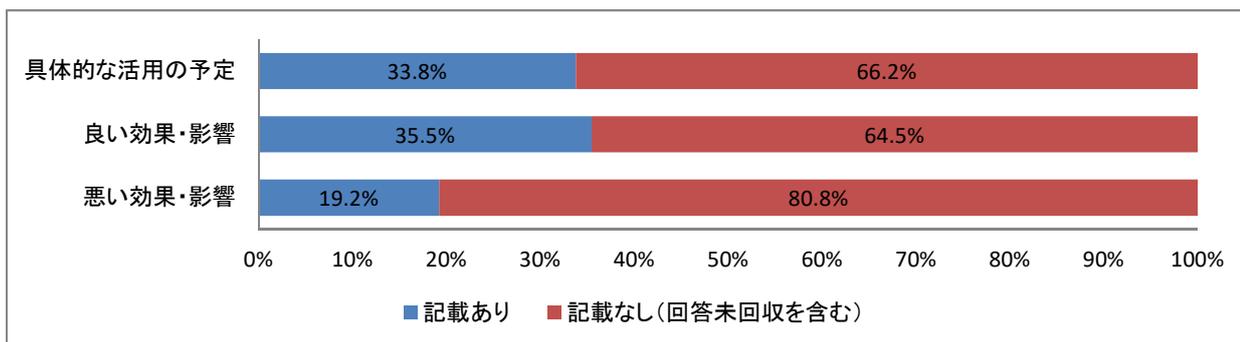
問1 評価の効果について

今回行った、研究の現況を自己分析して報告し、外部者の評価を受けるという一連の過程によって、貴学部・研究科等において以下の効果や影響があった(あるいは今後に顕在化する)と思われますか。項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。



問2 評価結果の活用予定について

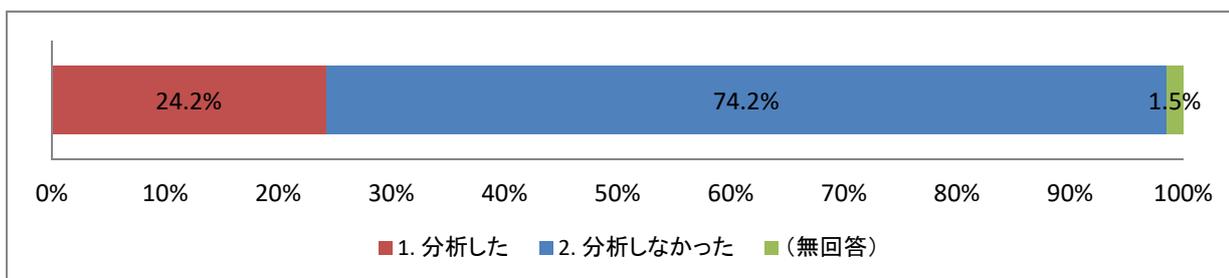
貴学部・研究科等において、今回の現況分析結果の具体的な活用の予定や、評価実施による良い効果・影響、悪い効果・影響がありましたら、以下にご記入ください。



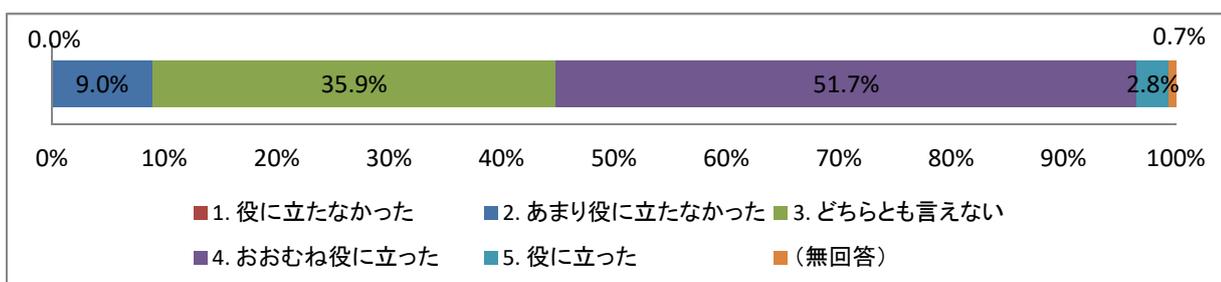
問3 他大学等の評価結果の分析状況について

同一学系内の他大学等の学部・研究科等について、評価結果(現況分析結果)の内容の分析を行いましたか。当てはまる番号をご回答ください。

(1) 他大学等の評価結果の内容を分析しましたか。



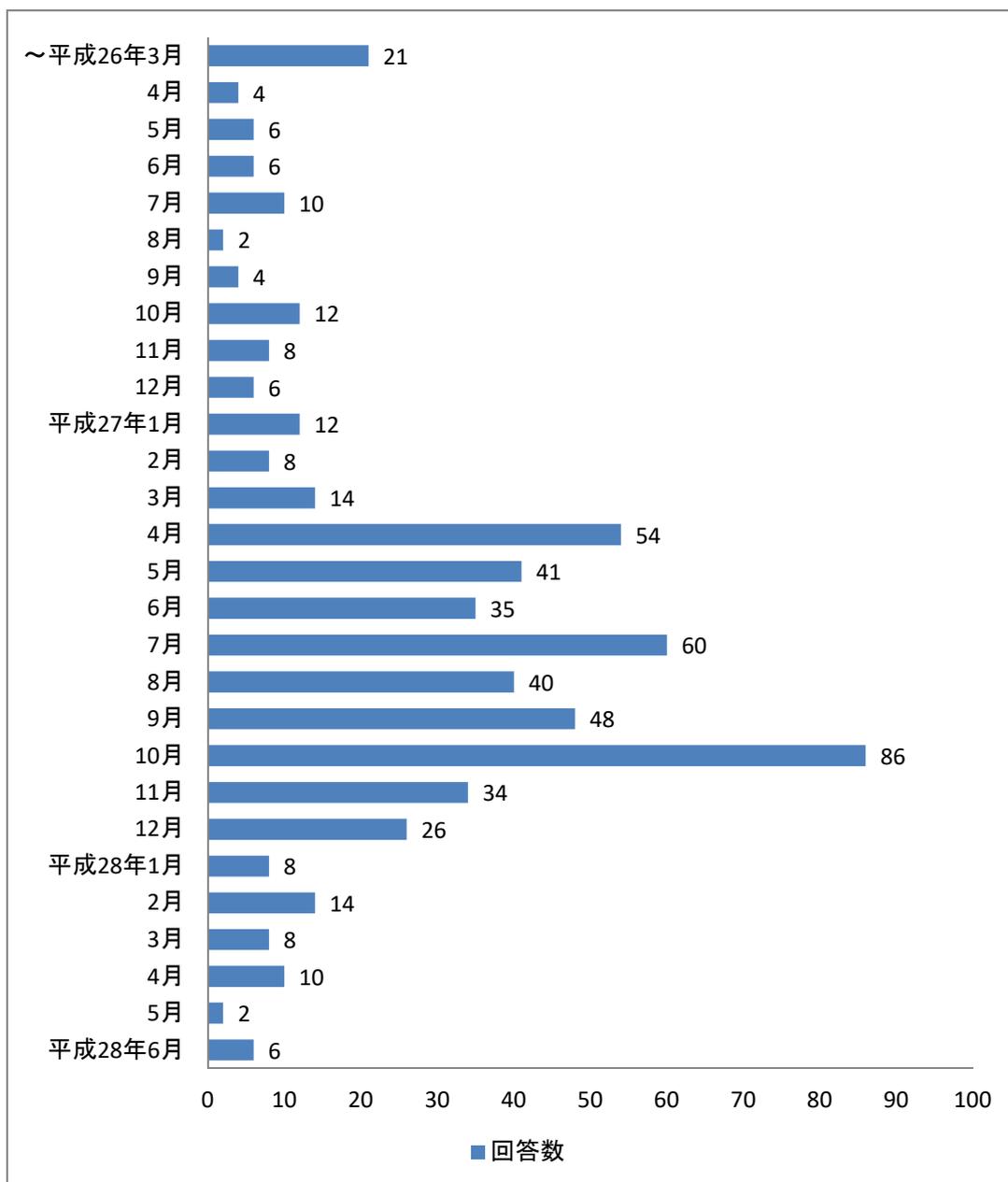
(2) 上の問いで「分析した」と回答された場合、分析した結果は役に立ちましたか。



IV 自己評価のための体制等について

問1 自己評価の体制・作業負担について

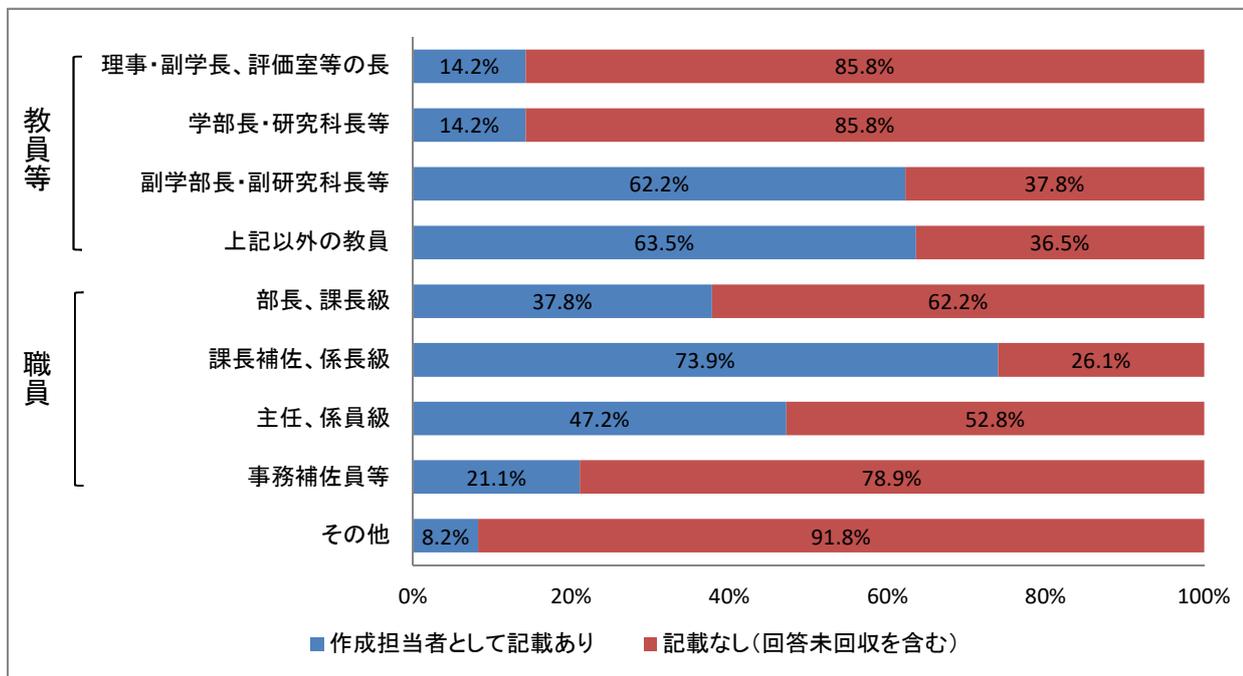
(1) 研究に関する現況調査表の作成(各分析項目・観点の記載や研究業績説明書の作成)を開始した時期をご回答ください。



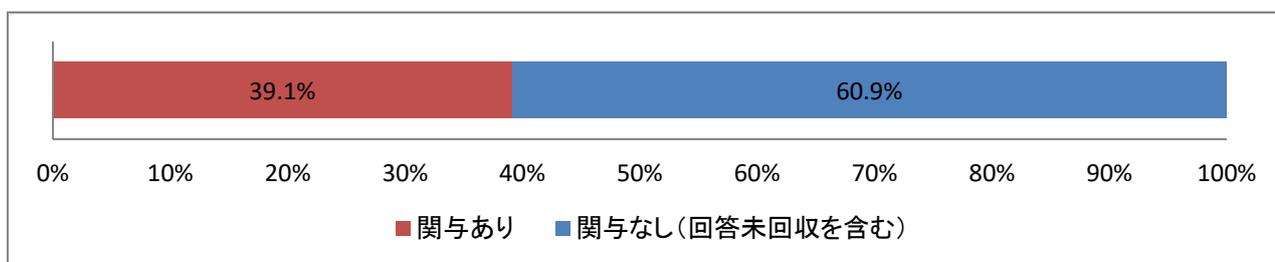
(2) 上の問いで回答された作成開始時期以降、研究に関する現況調査表の作成作業を行った体制についてお聞きします。

①学部・研究科等内に自己評価委員会などの組織を設置して現況調査表の作成作業を行った場合、その大まかな体制(組織構成および、それらの構成員数・現況調査表作成に係る会議の開催回数)を以下にご記入ください。(自由記述)

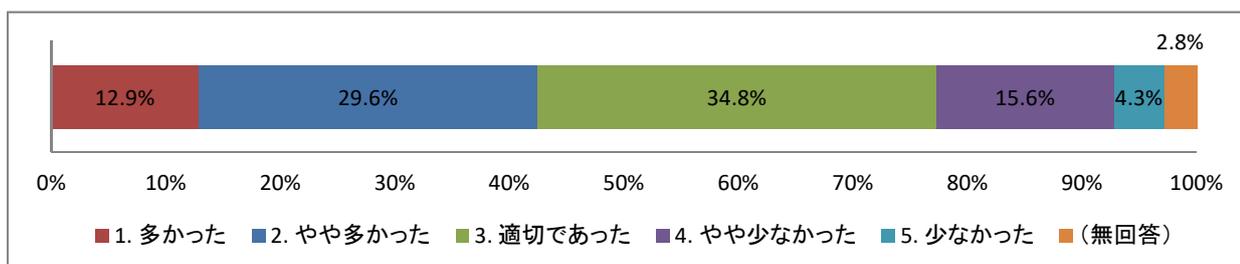
②貴学部・研究科等の現況調査表の作成を主な職務として担当した教員・職員のうち、研究に関する現況調査表の作成(達成状況報告書は除く)を担当したおおむねの人数について、フルタイム換算により分かる範囲でご回答ください(たとえば、現況調査表作成開始以降から提出までの職務の半分が、研究の現況調査表作成に関する業務であれば、0.5人。フルタイム換算での回答がしづらければ、人/日、人/月などの回答でも結構です)。



(3) 研究に関する現況調査表の作成において、大学等内あるいは部局内において研究に関するデータの収集や分析を行う専門的な部署や人員(IRやURAなど)が関与しましたか。関与していた場合、関与した専門部署名や専門人材の職名等を以下にご記入いただき、関与の程度を以下の5段階からご回答ください。



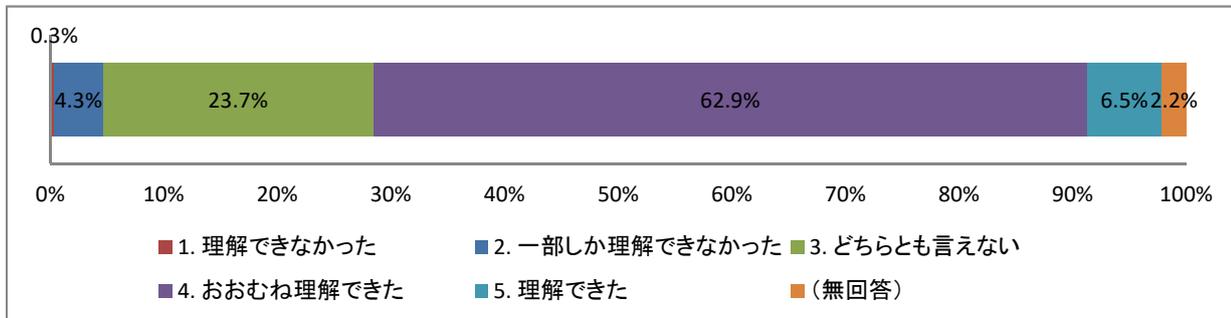
(4) 今回の現況調査表の作成に要した人員・時間は、国立大学法人評価の持つ意義を鑑みて、多かったですか、少なかったですか。当てはまる番号をご回答ください。



(5) 今回の現況調査表の作成作業を効率的に実施できた要因、反対に作業負担が多くなった要因がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

問2 実績報告書作成要領について

現況調査表の作成方法は、実績報告書作成要領により理解できましたか。当てはまる番号をご回答ください。



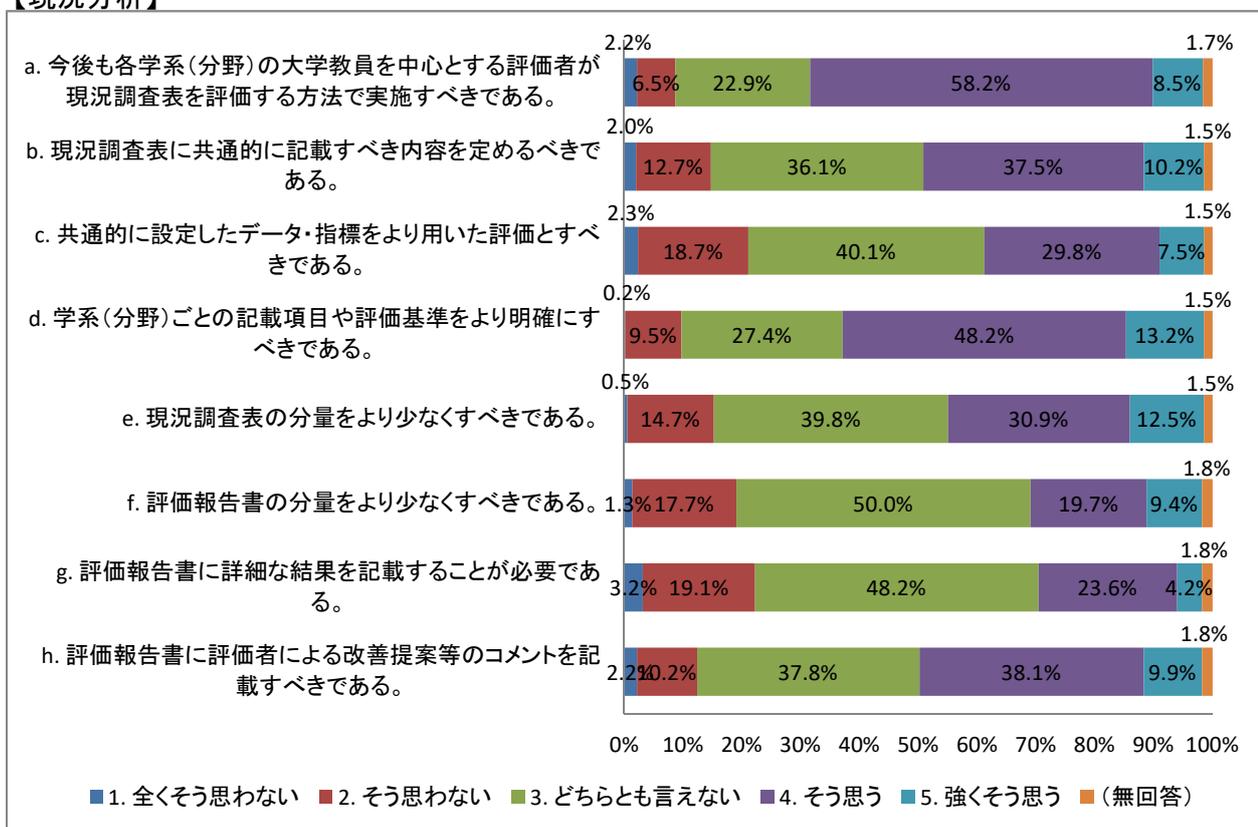
問3 評価の作業全般について、お気づきの点がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)

V 今後の評価のあり方について

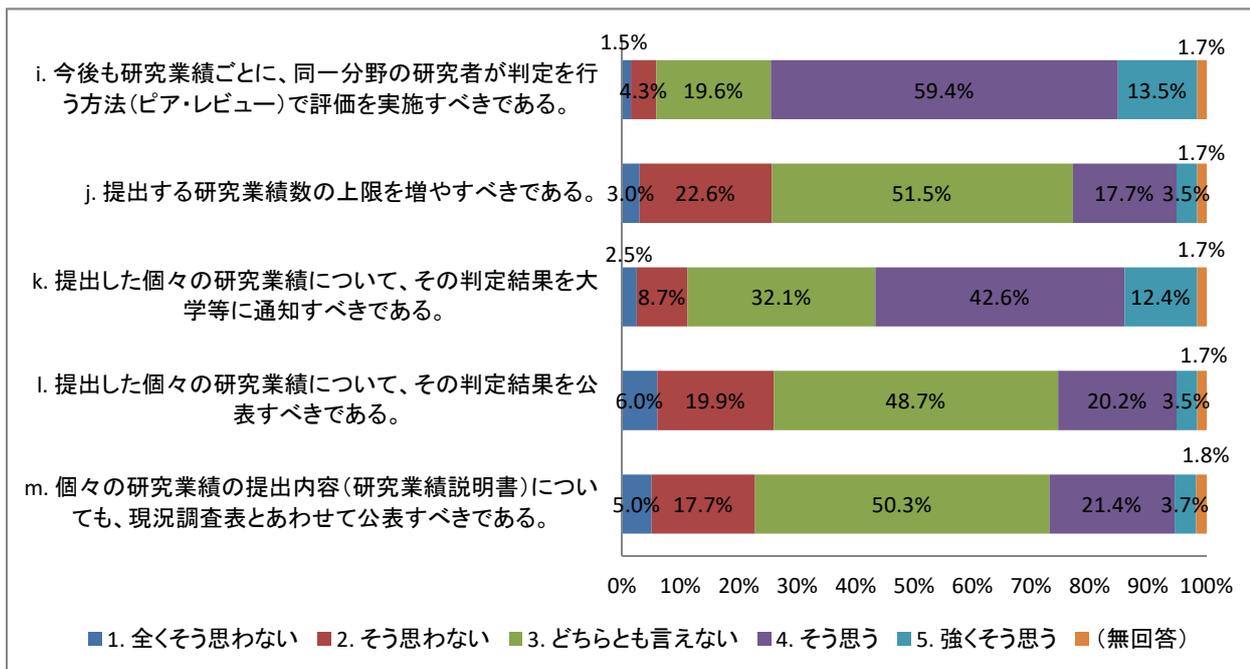
問1 今後の評価の方向性について

第3期中期目標期間の国立大学法人評価では、どのような評価のあり方を望まれますか。以下の項目ごとに当てはまる番号をご回答ください。

【現況分析】



【研究業績水準判定】



問2 今後の現況分析(研究業績水準判定含む)のあり方について、ご意見がありましたら、以下にご記入ください。(自由記述)